平成20年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2008

平成20年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2008

目次

凡例 04
美術館日誌 05
展示活動
特別企画展等 06
常設展 10
常設企画展 13
展覧会関連記事 15
教育普及活動
こどもアートアドベンチャー 19
夏休みこども美術館 20
開館記念事業 21
博物館実習 21
職場体験学習 21
読書室企画 21
ボランティア活動 22
出版物 25
調査研究活動 27
収集活動
美術資料 28
図書・映像資料 36
美術資料の修復・貸出 37
市民による施設の利用
展示室 40
講堂 47
教養講座室 47
実技講座室 49
版画印刷工房 51
入場者数一覧
展覧会観覧者数 52
読書室利用者数 53
名簿 54

凡例

1 本冊子は福岡市美術館の平成20年４月１日から平成21年３月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.20は平成20年の略字である。

2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。

3 主催展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。

4 「収集活動」の「美術資料」は平成20年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法（法量）は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3（イメージサイズ）で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1 郷土作家（注1）	A 油彩等（注2）	作品番号
2 日本作家	B 日本画等（注3）	
3 海外作家	C 水彩等（注4）	
4 黒田資料	D 素描	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松永コレクション	F 写真	
7 太田コレクション	G 彫刻等（注5）	
9 石村コレクション	Ha～Hf 工芸（注6）	
11 森山コレクション	I 書跡	
12 三宅コレクション	J 文書	
13 山崎朝雲資料	K その他	
14 一般古美術資料		
15 研究資料		
16 西本コレクション		
17 本多コレクション		
18 クスマコレクション		
19 藤森静雄資料		
20 森田コレクション		
21 川村コレクション		

注
1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2. A（油彩等）の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても１点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
3. B（日本画等）の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C（水彩等）の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G（彫刻等）の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H（工芸）は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

5 図版の＊は藤本健八氏撮影のものである。

美術館日誌

平成20年

7月　1日（火）　夏期の開館時間延長開始（8月31日まで）
7月11日（金）　特別展「ボストン美術館　浮世絵名品展」開会式
7月12日（土）　「ボストン美術館　浮世絵名品展」開催（8月31日まで）
7月26日（土）　夏休みこども美術館 2008 こどもワークショップ「大濠八景を描いて巻き物にしよう!」
7月29日（火）　中学校交流ワークショップ 2008「美術館の作品をアーティストとトークしよう」（7月29日、30日、31日の3日間）
8月　6日（水）　夏休みこども美術館 2008「美術館探検」（8月6日、13日、16日、20日、27日の全5回）
8月20日（水）　福岡市美術館観覧者 2,000 万人達成記念　記念品贈呈式
9月　2日（火）　観覧者 2,000 万人達成記念行事として、常設展示を無料公開（9月12日まで）
9月13日（土）　特別展「九州古陶磁の精華～田中丸コレクションのすべて」開催、同展開会式（10月26日まで）
10月15日（水）　美術資料収集審査会（古美術）
10月23日（木）　美術資料収集審査会（近現代美術）
11月　3日（祝）　開館記念日につき常設展観覧料無料
　　開館記念事業　図録フェア
12月　8日（月）　平成 20 年度の美術資料寄贈者への感謝状贈呈式
12月28日（日）　仕事納め

平成21年

1月　4日（日）　仕事始め
1月　6日（火）　常設企画展「福岡と雲谷派　城郭襖絵「梅に鴉図」の謎」開催（2月8日まで）
　　常設企画展「21 世紀の作家ー福岡 bis 2009」開催（3月29日まで）
1月24日（土）　「第 43 回福岡市美術展」入賞・入選者発表
1月27日（火）　美術資料収集審査会（近現代美術）
2月　3日（火）　「第 43 回福岡市美術展」開催（2月15日まで）
2月　8日（日）　「第 43 回福岡市美術展」表彰式
2月22日（日）　特別展「没後 40 年　レオナール・フジタ展」開催、同展開会式（4月19日まで）
3月18日（水）　平成 20 年度第 1 回美術館協議会



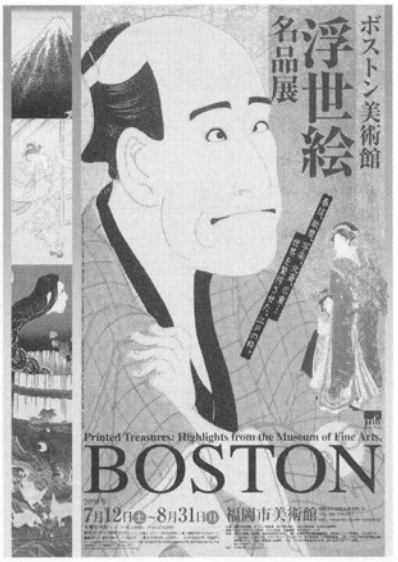
▲来館者2000万人達成記念品贈呈式


▲美術資料収集審査会（古美術）

特別企画展等

ボストン美術館 浮世絵名品展

会期：平成20年7月12日（土）－8月31日（日）
会場：特別展示室A



▲ポスターB2



▲会場風景

内　容

アメリカのボストン美術館には、５万点にのぼる浮世絵版画と、多くの版本・肉筆画が収蔵されている。本展では、膨大な収蔵品のなかから、鈴木春信、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重など代表的な絵師の作品に加え、二代目鳥居清倍の漆絵や、門外不出とされたスポルディング・コレクションの貴重な版本など、初期浮世絵版画の誕生から幕末までの展開を、版画に肉筆、画稿、版本を加えて紹介した。

出品点数

136点

関連事業

▶記念講演会

「ボストン美術館の浮世絵収集」
日　　時：平成20年7月12日（土）　午後2時～3時30分
講　　師：アン・ニシムラ・モース氏
（ボストン美術館アジア・オセアニア・アフリカ美術部日本美術課長）
会　　場：講堂
聴講者数：192人

「浮世絵の魅力とボストン美術館のコレクション」
日　　時：平成20年7月13日（日）　午後2時～3時30分
講　　師：永田生慈氏（美術評論家・葛飾北斎美術館館長）
会　　場：講堂
聴講者数：190人

主催等

主　　催：福岡市美術館／ボストン美術館／西日本新聞社／TVQ九州放送／日本経済新聞社
協　　賛：NEC／NTTドコモ九州支社／大日本印刷／三菱商事／味の明太子ふくや
後　　援：米国大使館／福岡県／福岡県教育委員会／（財）福岡市文化芸術振興財団／西日本リビング新聞社／CROSS FM／fm fukuoka／LOVE FM／FREE WAVE TENJIN FM／西日本鉄道／九州旅客鉄道／（社）日本自動車連盟福岡支部／福岡県タクシー協会／福岡商工会議所／（社）日本旅行業協会九州支部／西日本文化サークル連合／西日本天神文化サークル
協　　力：日本航空

観覧料

一般・・・1,300円（1,100円）
高・大生・・・800円（600円）
小・中生・・・500円（300円）

※（　）内は前売りおよび20人以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者料金。

開催日数

44日

観覧者数

87,607人

印刷物

ポスター3種（B1・B2・B3）
チラシ3種
（A4和文・A4英文・A3三つ折り）
図録（A4変形・253頁）
鑑賞ガイド（A5・14頁）



▲図録

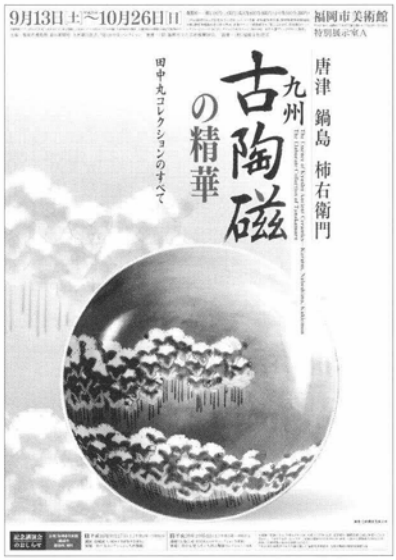
関連記事

p.15を参照。

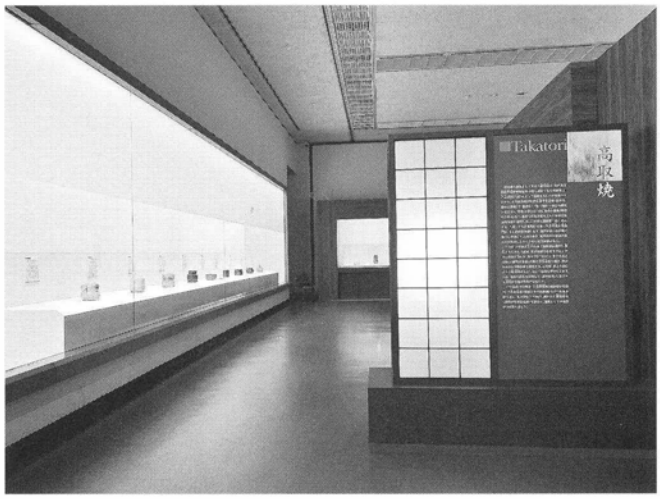
唐津 鍋島 柿右衛門

九州古陶磁の精華
田中丸コレクションのすべて

会期: 平成20年9月13日(土)ー10月26日(日)
会場: 特別展示室A



▲ポスターB2



▲会場風景

内 容

田中丸コレクションは、福岡玉屋の経営者・田中丸善八氏(1894-1973)が蒐集された400点を超える九州古陶磁コレクションである。九州各地の主要な窯を網羅し、かつ各窯の代表的な名品を揃えているのが特長で、卓越した内容のコレクションとして内外に知られる。本展はその中から厳選した161点に、福岡市美術館が所蔵する代表的な九州古陶磁20点を加え、九州古陶磁のエッセンスを紹介した。(その後、茨城県陶芸美術館、兵庫陶芸美術館、サンリツ服部美術館、富山市佐藤記念美術館へ順次巡回)

出品点数
181点

関連事業

▶記念講演会

「田中丸コレクションと九州陶磁」
日　　時:平成20年9月27日(土)　午後2時〜3時30分
講　　師:尾﨑直人(福岡市美術館学芸課長)
会　　場:講堂
聴講者数:92人

「田中丸善八氏と九州古陶磁コレクション」
日　　時:平成20年10月4日(土)　午後2時〜3時30分
講　　師:久保山 炎(財団法人田中丸コレクション学芸員)
会　　場:講堂
聴講者数:158人

主催等
主　　催:福岡市美術館/朝日新聞社/九州朝日放送/(財)田中丸コレクション
後　　援:(財)福岡市文化芸術振興財団
協　　賛:(財)福岡文化財団

観覧料
一般・・・1,300円(1,100円)
高・大生・・・800円(600円)
小・中生・・・500円(300円)

※( )内は前売りおよび20人以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者料金。

開催日数
38日

観覧者数
13,653人

印刷物
ポスター(B2)
チラシ(A3変形2つ折り)
図録(A4変形・266頁)



▲図録

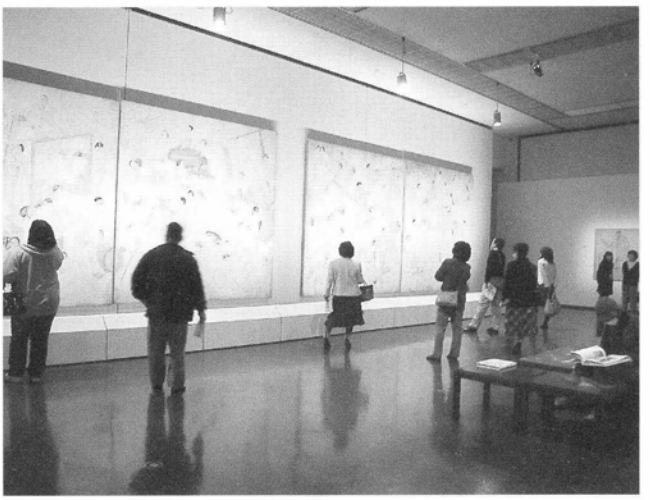
関連記事
p.15を参照。

没後40年
レオナール・フジタ展

会期：平成21年2月22日（日）－4月19日（日）
会場：特別展示室A



▲チラシA3二つ折り


▲会場風景

内　容

日本生まれの画家レオナール・フジタ（藤田嗣治　1886－1968）は、20世紀初頭のパリで特有の画風と強烈な個性により一躍画壇の寵児となった後、戦後フランスに帰化して生涯を終えた。
1928年から翌年にフランス等で発表されたもののその後行方知れずとなり、近年に再び発見された４点の大作を、本展では日本で初めて一堂に展示した。またさらに、フジタのその他の作品や様々な関連資料、遺品の紹介も行い、激動の20世紀を疾走した画家の人間像をも新たな視点から浮彫りにする展覧会となった。

出品点数　230点（作品・資料とも）

関連事業

▶プレイベント
講演会「展覧会を見る前に
フジタのヒ・ミ・ツ」

日　　時：平成21年1月30日（金）
　　午後7時～9時
講　　師：三谷理華（福岡市美術館学芸員）
会　　場：九州日仏学館
聴講者数：約80人

▶プロムナードコンサート
「レオナール・フジタの祈りと
フランスの香り」

日　　時：平成21年3月15日（日）
　　午後2時～3時
演　　奏：福岡ハイドン弦楽四重奏団
会　　場：講堂
入場者数：246人

▶記念講演会
「集中そして／あるいは蒸発ー
肖像・自画像・「現代生活」」

日　　時：平成21年2月22日（日）
　　午後2時～4時
講　　師：ヴィクトル・I・ストイキツァ氏
　　（フリブール大学［スイス］教授、美術史家）
会　　場：講堂
聴講者数：225人
講演会企画協力：西南学院大学国際文化学部

「レオナール・フジタ 晩年の孤独」

日　　時：平成21年3月14日（土）
　　午後2時～4時
講　　師：近藤史人氏
　　（NHK制作局エグゼクティブプロデューサー）
会　　場：講堂
聴講者数：234人

主催等

主　　催：福岡市美術館／西日本新聞社／ TVQ 九州放送
後　　援：外務省／フランス大使館／福岡県／福岡県教育委員会／（財）福岡市文化芸術振興財団／西日本リビング新聞社／ cross fm ／ FM FUKUOKA ／ LOVE FM ／ FREE WAVE TENJIN FM ／西日本鉄道／九州旅客鉄道／（社）日本自動車連盟福岡支部／福岡県タクシー協会／九州日仏学館／福岡 EU 協会／西日本文化サークル連合／西日本天神文化サークル
協　　賛：トヨタ自動車／大日本印刷／ヤマトロジスティクス／損害保険ジャパン／（財）福岡文化財団
協　　力：DNP アートコミュニケーションズ／日本航空
出力協力：エプソン
企画協力：フランス・エソンヌ県／キュレイターズ

観覧料

一般・・・1,300円（1,100円）
高・大生・・・800円（600円）
小・中生・・・500円（300円）

※（　）内は前売りおよび20人以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者の料金。

開催日数　49日

観覧者数　71,065人

印刷物

ポスター（B1・B2・B3）
チラシ（A4・A3二つ折り）
図録（A4変形・267頁）
しおり（丸型・長形）



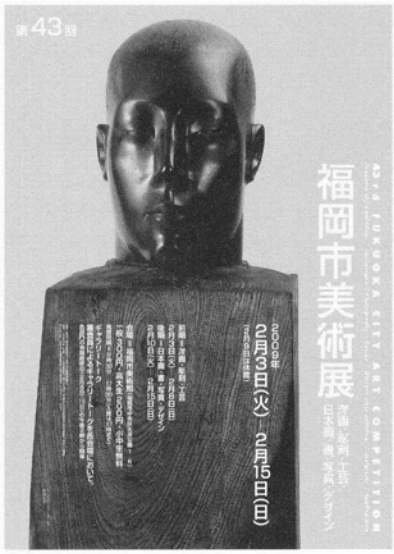
▲図録

関連記事

p.16を参照。

第43回福岡市美術展

会期：平成21年2月3日（火）－2月15日（日）
前期：洋画・彫刻・工芸 2月3日（火）－2月8日（日）
後期：日本画・書・写真・デザイン 2月10日（火）－2月15日（日）
会場：特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D



▲ポスターB2



▲福岡市美術展特別賞　小野瑛《泳魚》＊

内　容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催している公募展。今回は、洋画等７部門で、1,098人（1,262点）の応募があり、内700人（700点）が入選。このうち、市長賞など入賞作品は71点であった。

出品点数

737点

関連事業

▶入賞・入選発表

期　　日：平成21年1月24日（土）
場　　所：1階ロビー

▶表彰式

期　　日：平成21年2月8日（日）
会　　場：講堂
各　　賞：福岡市美術展特別賞1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議長賞2点、福岡市教育委員会賞、福岡県美術協会賞、福岡文化連盟賞、福岡市文化芸術振興財団賞、九州日仏学館賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2点、福岡市美術連盟奨励賞3点、奨励賞48点。

▶ギャラリートーク

前　　期：平成21年2月8日（日）　午後2時より
後　　期：平成21年2月15日（日）　午後2時より

主催等

主　　催：福岡市／福岡市教育委員会／福岡市美術展運営委員会
後　　援：九州日仏学館／福岡県／（社）福岡県美術協会／福岡文化連盟／（財）福岡市文化芸術振興財団／西日本新聞社／福岡市美術連盟

観覧料

一般・・・300円　高・大生・・・200円　小・中生・・・無料
※障害者手帳所持者は無料

開催日数

12日

観覧者数

7,150人

印刷物

ポスター（B2・2種）
開催要項（A3二つ折り）
図録（A4変形・48頁）



▲図録

関連記事

p.17を参照。

出品・入賞・入選状況

部門	出品合計（応募）		展示			展示点数
	人員（人）	点数（点）	入賞・入選 人員（人）・点数（点）		招待（人・点）	
日本画	46	48	32	32	5	37
洋画	265	323	204	204	5	209
彫刻	12	12	11	11	5	16
工芸	109	129	63	63	5	68
書	236	243	143	143	6	149
写真	318	390	192	192	6	198
デザイン	112	117	55	55	5	60
合計	1,098	1,262	700	700	37	737

※招待点数は審査員出品を含む。

常設展

■近現代美術

近現代美術室

世界・日本・九州の美術：20世紀から21世紀へ
会期：平成19年6月8日（金）ー平成20年5月18日（日）

日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど、主に20世紀に登場したさまざまな美術動向を代表する国内外の作品約60点を、時代別、傾向別にわかりやすく展示。

1.ラファエル・コランと日本近代洋画
ラファエル・コラン、黒田清輝、岡田三郎助、吉田博など
2.二十世紀前半の新たな展開
里見勝蔵、児島善三郎、野口弥太郎、モーリス・ユトリロ、ジョルジュ・ルオー、古賀春江、三岸好太郎、坂田一男など
3.不安と絶望からの出発
ジャン・フォートリエ、ジャン・デュビュッフェ、ピエール・アレシンスキー、ベルナール・ビュッフェ、マルク・シャガール、ジョアン・ミロ、サルヴァドール・ダリ、ポール・デルヴォー、川口軌外、織田廣喜など
4.アンフォルメルと抽象表現主義
菅井汲、ニコラ・ド＝スタール、アントニ・タピエス、田渕安一、ザオ・ウーキー、サム・フランシス、マーク・ロスコなど
5.拡がりゆく美術の新たな表現
磯辺行久、篠原有司男、草間彌生、大竹伸朗、アンディ・ウォーホル、ロイ・リキテンシュタイン、ジョージ・シーガル、風倉匠、イヴ・クライン、ジャック・モノリー、エンリコ・カステラーニ、ルイ・カーヌ、ジュゼッペ・ペノーネなど

日本画工芸室

冨田溪仙展
会期：平成20年4月1日（火）ー5月18日（日）

博多出身の日本画家冨田溪仙（1879-1936）は、京都で絵画修行を積み、明治末期から昭和のはじめまで院展や文展などを主な発表の場として活躍した。自由で飄逸な溪仙の作品世界を、所蔵品の中から選りすぐった14点により紹介した。

ロンリー・ハートー平野遼・筧忠治・相笠昌義（西本コレクション）
会期：平成20年5月27日（火）ー7月13日（日）

和歌山市の西本宏氏による一括寄贈コレクション（西本コレクション）には、西本氏の独自の観点により収集された、人生の憂愁を深く刻んだ作品が多数含まれている。彼の人生をそのまま反映したかのような主題を持つ作品群の中から、代表的な3人の作家ー平野遼、筧忠治、相笠昌義の作品を、それぞれ個展形式で展示。いずれの作家も、西本氏と同じように孤高に生き、孤独と向き合い、そして孤独を描いた。平野21点、筧25点、相笠30点（計76点）を展示した。

「ボストン美術館　浮世絵名品展」関連企画　近代木版画の美
会期：平成20年7月15日（火）ー９月７日（日）

ボストン美術館浮世絵名品展の開催にちなみ、当館の所蔵する大正時代から昭和時代にかけての木版画を特集。田中恭吉、恩地孝四郎、藤森静雄、吉田博、小早川清、伊東深水などの74点により、浮世絵版画の伝統に対して、否定・革新・継承など多様な展開をみせた日本近代の木版画の世界を紹介した。



吉田 博《帆船　午前（瀬戸内海集）》1926年▶

水上泰生・今中素友展
会期：平成20年９月９日（火）ー11月３日（月・祝）

福岡県那珂郡住吉村（現在の福岡市博多区）出身の水上泰生（1882-1951）と早良郡鳥飼村（現在の福岡市城南区）出身の今中素友（1886-1959）。明治末から昭和前期まで、文展や帝展で活躍した二人の郷土の日本画家の作品15点の展示により、彼らが得意とした花鳥画の世界を紹介。

時代で見る美術Ⅰ　1890年代～1900年代
会期：平成20年11月5日（水）ー12月27日（土）

所蔵品を年代で区切って見ることにより、時代と表現について考える特集展示の第一弾。日本で美術の諸制度が確立した時期にあたる1890年代から1900年代の作品29点を展示。

現代美術と「和」の表現
会期：平成21年1月6日（火）ー3月29日（日）

国際性が評価のベースとされる現代の美術界において、イメージが「日本的」であることが海外でむしろ高く評価されたり、または国際性に背を向けあえて日本独自の表現に活路を見出した作家もいた。現代美術作品の中に現れる「和風」の表現に焦点をあて、絵画、版画など25点を展示。

小作品室

シリーズ美術の技法Ⅰ　コラージュ
会期：平成20年4月1日（火）ー5月18日（日）

今年度より、美術の様々な技法を紹介するシリーズを開始。第1回目は、新聞紙や写真、布など断片化されたものを画面に貼り付ける「コラージュ」の技法をとりあげた。「コラージュ」は20世紀前衛芸術運動において見出され、今日では現代美術に浸透している。当館所蔵品から16点を展示し、この技法を再考する機会とした。

ロンリー・ハートー平野遼・筧忠治・相笠昌義（西本コレクション）
会期：平成20年5月27日（火）ー7月13日（日）

<日本画工芸室>を参照。

「ボストン美術館　浮世絵名品展」関連企画　近代木版画の美
会期：平成20年7月15日（火）ー９月７日（日）

<日本画工芸室>を参照。

ラファエル・コランの挿絵版画
会期：平成20年９月９日（火）ー11月３日（月・祝）

黒田清輝など、日本の近代洋画家たちの留学中の師であったフランス人画家、ラファエル・コラン（1850-1916）。このコランが原画を提供した豪華挿絵本は、画家の古代ギリシア趣味の様をうかがわせる。清楚でありながら甘美な、匂いたつかのごとき作品 52 点を紹介。



ラファエル・コラン（原画）
《笛のレッスン（『ダフニスとクロエ』より）》
（シャンポリオンによるエッチング）
1890年にロネット社より刊行　個人蔵▶

版画家の年賀状とカレンダー
会期：平成20年11月５日（水）－12月27日（土）

版画家、藤森静雄（1891-1943）のもとには、全国の版画家仲間から版画の年賀状が届いていた。版画家たちの創意工夫を伝える年賀状155通と版画によるカレンダー8種を藤森静雄資料から紹介した。



恩地孝四郎《年賀状》1926年▶

永井一正の版画
会期：平成21年1月6日（火）－2月15日（日）

日本を代表するグラフィックデザイナーである永井一正（1929- ）は、デザインの仕事と平行して版画制作にも取り組んでいる。所蔵品から21点を展示し、現在も精力的に活動を続ける永井の初期版画作品を紹介した。

ヨーゼフ・ボイスの版画
会期：平成21年2月17日（火）－3月29日（日）

絵画や彫刻、素描やオブジェなど膨大で多岐にわたる作品を残したドイツの現代美術家ヨーゼフ・ボイス（1921-1986）。政治運動や社会運動にも芸術家として関与し、70年代以後の美術界に多大な影響を与えた作家の仕事の一端を、版画作品18点で紹介した。

企画展示室

ザ・同級生－比べてみよう同年生まれの美術家たち－
会期：平成20年4月1日（火）－5月18日（日）

例えば、ジョアン・ミロと児島善三郎。故郷も作風も大きく異なったこの2人、実は1893年生まれで同い年。一方、廃品やガラクタで作品を作り、「反芸術」の動向を共に担った菊畑茂久馬と工藤哲巳は1935年生まれ。「同級生」同士の作品を見比べながら、同時代に生きた美術家たちの共通項と相違点に注目した。所蔵品36点、寄託作品4点（計40点）を展示。

ロンリー・ハート－平野遼・筧忠治・相笠昌義（西本コレクション）
会期：平成20年5月27日（火）－7月13日（日）

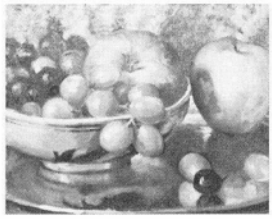
<日本画工芸室>を参照。

イケメン大集合－絵になる男たち－
会期：平成20年７月15日（火）－９月７日（日）

「若い男性の顔かたちがすぐれていること。また、そのような男性」―『広辞苑』第六版には、「イケメン」はこのように定義されている。絵画や彫刻などでも、男性たちの姿は、個性豊かな魅力をもって様々に表現されている。こうした美術表現の中の「イケメン」たちを、所蔵品35点により紹介。

もぎたて！美術館－アートになった果物－
会期：平成20年9月９日（火）－11月3日（月・祝）

静物画の題材として描かれたり、季節感を表すために添えられるなどアートの中で意外に活躍する果物に注目した特集。古美術作品も交えた絵画、彫刻、工芸28点により美術表現の多様性を探った。



永地秀太《静物》1933年▶

田崎広助展
会期：平成20年11月５日（水）－12月27日（土）

筑後出身の洋画家、田崎広助（1898-1984）は、はじめ二科会で、やがて一水会や日展で活躍した。山岳風景画などで知られ、とりわけ阿蘇山を愛した。当館所蔵の田崎広助作品の中から、《黒い阿蘇山》（1961年）など、その力強い作風を伝える代表作15点を展示。

■古美術

古美術企画展示室

漆のアジア
会期：平成20年4月8日（火）－5月18日（日）

漆の文化は、原始時代からアジア世界に根ざし、各地の風土や生活形態に応じた様々な漆工芸品を生み出した。本展は、中国・朝鮮・日本・琉球、そしてインドシナ半島まで、時代・地域ともに広範にわたるアジアの漆工芸の多様性を、当館の所蔵品35点により紹介した。



花鳥螺鈿描金盒子　元時代＊▶

田中丸コレクション（コーナー展示）
会期：平成20年4月8日（火）－8月31日（日）

当館に寄託されている田中丸コレクションは、唐津、高取、上野、八代、小代、薩摩、現川など、九州の主要な窯を網羅した近世陶器で構成される。これらの中から20点を展示。

人のかたち
会期：平成20年5月24日（土）－7月21日（月・祝）

美術に表現された「人」のかたちには、人間世界の描写、神や仏の造形、物を装飾する文様など、媒体や時代・地域性による様々な意味がある。本展は、仏像、絵巻物、掛軸などの古美術作品37点によって、古来、描かれ、彫刻されてきた人物表現の多様性を紹介した。



風神像　鎌倉時代＊▶

夏休みこども美術館2008

こどもギャラリー「江戸のアートを楽しもう!」

会期：平成20年7月23日（水）－8月31日（日）

江戸時代福岡藩の藩主黒田家の資料から殿さまやお姫さまが使った道具や鑑賞した絵画など11点を展示した。日常には見られなくなった江戸時代の美術品を子供たちが鑑賞しやすいようにパネルを用いてわかりやすく展示した。

仙厓展－三宅酒壺洞と仙厓－

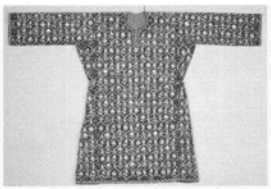
会期：平成20年9月2日（火）－11月3日（月・祝）

三宅酒壺洞（1902-82）は福岡市大博町（博多区大浜）に生まれ、俳句を志し種田山頭火とも交遊した。郷土の仙厓研究者でもあった酒壺洞が収集した本館の三宅コレクションによって、その業績を偲んだ。

クスマ・コレクション　スマトラ島の染織

会期：平成20年11月5日（水）－12月27日（土）

インドネシアのスマトラ島は、インドネシア染織生産の縮図ともいわれるほど、多彩な染織品を産出してきたことで知られている。当館所蔵のエイコ・クスマ氏のコレクションのなかから、未紹介の作品を含む44点を展示。



菱格子花文様刺繍　南スマトラ州パレンバン▶

タイ・ベトナムの陶磁－本多コレクションを中心に

会期：平成21年2月10日（火）－3月29日（日）

東南アジア陶磁の双璧といえる、タイとベトナム両国の領域で生産された古陶磁の魅力を、インドシナ半島の陶磁の体系的なコレクションとして知られる本多コレクションを中心とする70点により紹介。

松永記念館室

春の名品展

会期：平成20年4月8日（火）－5月18日（日）

伝・俵屋宗達筆「雄鶏図」「雌鳥図」の他、春の訪れを感じさせる名品17点を、松永コレクションの茶道具のなかから選りすぐって展示。

茶道具の舞台裏－箱・仕覆・包裂－

会期：平成20年5月24日（土）－7月21日（月・祝）

松永コレクションの名品のなかから茶道具を納める、贅をこらした箱、中国渡りの仕覆、インド更紗の包裂など、普段表舞台にでてこない茶道具の舞台裏を、作品とともに紹介した。唐物肩衝茶入 銘「松永」とその箱、書付、仕覆など、8点の作品とその附属品を展示。



唐物肩衝茶入　銘「松永」　明時代▲

耳庵の愛した逸品

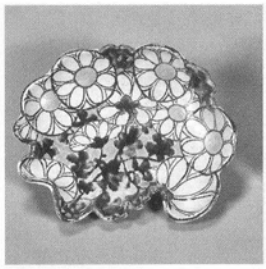
会期：平成20年7月23日（水）－8月31日（日）

松永耳庵は、これと思い定めた作品には、非常なる情熱を注いで収集につとめたことで知られ、そこに数々のエピソードが残されている。松永コレクションのなかから、逸話のある名品を中心に、17点を展示。

秋の名品展

会期：平成20年9月2日（火）－11月3日（月・祝）

夏から冬への移ろいに、快さともの寂しさが複雑に入り交じる秋の季節。尾形乾山　筆「花籠図」（重要文化財）の他、朝鮮の陶器や桃山茶陶など、侘び茶の世界で愛された茶道具を中心に、古来日本人が殊更に愛してきたこの季節に相応しい名品を21点展示。



尾形乾山　色絵菊図向付　江戸時代▶

湯沸しの具－水指・釜・炭道具－

会期：平成20年11月5日（水）－12月27日（土）

茶席での点前は、炉や風炉に火をおこし、湯を沸かすことに始まる。点茶に先んじて行われるこの一連の所作に必要な茶道具は、侘茶の深まりとともに、茶の湯における身近な美的評価の対象として見なされてきた。この展示では、松永耳庵の旧蔵品20点により、湯沸しに用いる茶道具に焦点をあてて紹介した。

新春名品展

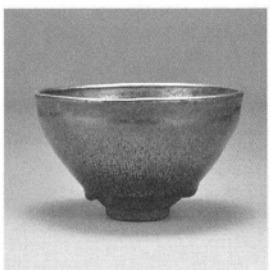
会期：平成21年1月6日（火）－2月15日（日）

茶人・松永耳庵は新春の茶席には、伝・本阿弥光悦筆、伝・尾形光琳絵の《金銀泥梅花図》と《古雲鶴筒茶碗》をもって、客人をもてなすのが通例であった。本展では、この２点を中心に、新春を迎えるにふさわしい作品20点を展示。

唐物と和物

会期：平成21年2月17日（火）－3月29日（日）

茶の湯の草創期から格式高い茶道具として尊ばれた中国からの舶載品である「唐物」に対し、美濃の陶器に代表される「和物」の茶道具は、侘茶の成立とともにその味わい深い造形が珍重された。本展では、松永コレクションの中から、唐物と和物それぞれの代表的な茶道具20点を紹介。



建盞天目茶碗　南宋時代＊▶

東光院仏教美術室

薬王密寺東光院（博多区吉塚）から寄贈された重要文化財25点を含む仏像を展示。薬師如来立像、十二神将立像（平安時代後期・南北朝時代）など。

東光院の仏画－涅槃図ほか（コーナー展示）

会期：平成21年1月６日（火）－2月15日（日）

涅槃会の時節にちなみ、東光院伝来の仏涅槃図等を展示した。

観 覧 料：一般200円（150円）、高・大生150円（100円）、小・中生無料。ただし、福岡市発行のシルバー手帳および北九州市発行の年長者施設利用証・療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。（ ）内は20人以上の団体料金。

観覧者数：p.52を参照。

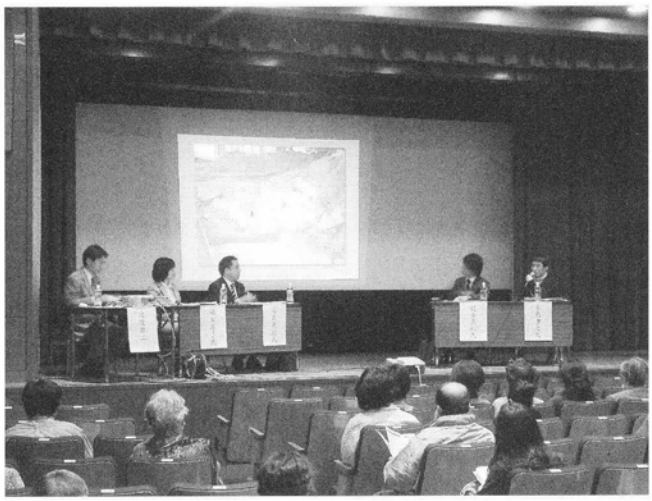
関連記事：p.17を参照。

福岡と雲谷派
城郭襖絵「梅に鴉図」の謎

会期：平成21年1月6日（火）ー2月8日（日）
会場：古美術企画展示室



▲ポスターB2


▲記念シンポジウム

内　容

重要文化財「梅に鴉図」（京都国立博物館蔵）は筑前名島城（福岡市東区）の襖絵で作者は雲谷等顔（1547～1618）と伝える。名島城は小早川隆景の居城で天正十六年（1588）から築城された。雲谷等顔は雪舟の後裔を称する画家で、京都や山口で活動し、桃山画壇に重要な位置を占めた。この襖絵は、すべて背景に墨で大きな梅の木を描き、その長く伸びた枝にカラスが数羽たたずむという非常に静寂感あふれる印象がある。展覧会を通して、この図の作者や制作背景の謎を示した。

出品点数
16点

関連事業

▶記念シンポジウム
「梅に鴉図」の謎は解けるか?!
ー建築史、考古学、歴史学、美術史学の視点から

日　　時：平成21年2月1日（日）　午後2時～4時30分
パネリスト：木島孝史氏（九州大学建築史研究室）
　　高山英朗氏（福岡市博物館）
　　榎本義嗣氏（福岡市教育委員会文化財部）
　　福田善子氏（九州大学大学院）
コーディネーター：渡邊雄二（福岡市美術館）
会　　場：講堂
聴講者数：89人

主催
福岡市美術館

観覧料
常設展観覧料（p.12を参照）

開催日数
30日

観覧者数
常設展示観覧者数（p.52を参照）

印刷物
ポスター（B2）
チラシ（A4）
図録（A4変形・96頁）
解説リーフレット（A4・8頁）



▲図録

関連記事
p.18を参照。

21世紀の作家ー福岡 bis 2009

会期: 平成21年1月6日(火)ー3月29日(日)
会場: 企画展示室



▲ポスターB2変形



▲会場風景

内　容

当館では、1999年度よりシリーズ企画展「21世紀の作家—福岡」を継続的に開催しているが、今回、より若い世代の作家たちに制作の支援と発表の機会を与え、福岡の美術シーンを活性化することを目的として、「21世紀の作家—福岡 bis」を不定期に開催することとした。
初回となる本展では、絵画の分野で活動している3人の美術作家—遠山裕崇、中﨑博之、平岡昌也の新作絵画、彫刻作品11点を展示。福岡における若い作家の動向を示した。

出品点数 11点

関連事業

▶出品作家によるアーティストトーク

日　　時：平成21年1月31日(土)　午後2時～3時40分
出品作家：遠山裕崇、中﨑博之、平岡昌也
ゲストコメンテーター：尾﨑信一郎氏(鳥取県立博物館美術振興課長)
会　　場：教養講座室
聴講者数：70人

主催

福岡市美術館

観覧料

常設展観覧料(p.12を参照)

開催日数 72日

観覧者数

常設展示観覧者数(p.52 を参照)

印刷物

ポスター(B2変形)
チラシ(A4変形)
図録(A4変形・28頁)



▲図録

関連記事

p.18を参照。

展覧会関連記事

■特別企画展等

ボストン美術館 浮世絵名品展

西日本新聞（朝刊）	H20.6.26	本社の事業／写楽ら第一級の作品136点／「ボストン美術館　浮世絵名品展」／来月12日から　福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H20.7.8	浮世絵名作の世界　ボストン美術館展 1／写楽　ありのままを描ききる／（岩永悦子・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H20.7.9	浮世絵名作の世界　ボストン美術館展 2／清倍　肉太、迫力の墨線に魅力／（岩永悦子・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H20.7.10	浮世絵名作の世界　ボストン美術館展 3／春信　多色摺り開発の立役者／（岩永悦子・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H20.7.11	浮世絵名作の世界　ボストン美術館展 4／歌麿　三人一体で「美の世界」／（岩永悦子・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H20.7.12	浮世絵名作の世界　ボストン美術館展 5／北斎　超越的な自然の姿描く／（岩永悦子・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H20.7.12	浮世絵の魅力　米から伝える／きょうからボストン美術館展
日本経済新聞（朝刊）	H20.7.20	江戸の粋　奇跡の輝き／ボストン美術館　浮世絵名品展／色あせぬ136点里帰り／（大阪・文化担当　宮川匡司）
西日本新聞（朝刊）	H20.7.30	浮世絵名品展の入場2万人突破／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H20.8.1	春秋
西日本新聞（朝刊）	H20.8.2	「浮世絵名品展」浴衣着用の来場者に特典／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H20.8.5	海を渡った「江戸の美」　浮世絵とボストン美術館 1／鮮明　刷り上がりの色実感
西日本新聞（朝刊）	H20.8.6	海を渡った「江戸の美」　浮世絵とボストン美術館 2／歴史　生物研究が結んだ縁
日本経済新聞（夕刊）	H20.8.6	江戸の粋　私の一点（中）／福岡市美術館学芸員　岩永悦子／ボストン美術館　浮世絵名品展／鈴木春信「雨中美人」／「暦」とじ込めた永遠の美
西日本新聞（朝刊）	H20.8.7	浮世絵名品展　入場3万人超／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H20.8.7	海を渡った「江戸の美」　浮世絵とボストン美術館 3／細心　未来に伝えるために
日本経済新聞（夕刊）	H20.8.7	江戸の粋　私の一点（下）／福岡商工会議所会頭　河部浩幸／ボストン美術館　浮世絵名品展／奥村政信「初代尾上菊五郎の虚無僧姿の曽我五郎」／にじみ出る色気に真骨頂
西日本新聞（朝刊）	H20.8.8	海を渡った「江戸の美」　浮世絵とボストン美術館 4／遺志　展示できない"名品"
西日本新聞（朝刊）	H20.8.9	江戸の美 今も鮮烈／ボストン美術館　浮世絵名品展／厳選136点一挙公開 31日まで福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H20.8.9	海を渡った「江戸の美」　浮世絵とボストン美術館 5／交流　開かれた名品の扉
西日本新聞（朝刊）	H20.8.20	「浮世絵名品展」入場5万人突破／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H20.8.28	浮世絵名品展の入場7万人突破／福岡市美術館

九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて

佐賀新聞	H20.8.22	歴史再発見の秋／九州テーマに企画展続々／博物館など／国宝など名品多数紹介
大分合同新聞（夕刊）	H20.9.6	九州古陶磁勢ぞろい／13日から福岡市美術館
朝日新聞（朝刊）	H20.9.7	九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて／百花繚乱　名器の旅／厳選181件　主要な窯網羅／（福岡市美術館学芸員・後藤 恒）
朝日新聞（朝刊）	H20.9.17	唐津・伊万里・鍋島　古陶磁181点ずらり／福岡市美術館
朝日新聞（夕刊）	H20.10.3	九州古陶磁の美　主要な窯一望に／田中丸コレクション／（中村俊介）
朝日新聞（朝刊）	H20.10.17	九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて一福岡市美術館にて開催中／唐津／（福岡市美術館学芸員　後藤 恒）
朝日新聞（朝刊）	H20.10.21	九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて一福岡市美術館にて開催中／鍋島／（福岡市美術館学芸員　後藤 恒）
朝日新聞（朝刊）	H20.10.22	九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて一福岡市美術館にて開催中／伊万里／（福岡市美術館学芸員　後藤 恒）
朝日新聞（朝刊）	H20.10.24	九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて一福岡市美術館にて開催中／現川／（福岡市美術館学芸員　後藤 恒）
朝日新聞（朝刊）	H20.10.25	九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて一福岡市美術館にて開催中／柿右衛門／（福岡市美術館学芸員　後藤 恒）
茶と骨董 vol.12		注目の展覧会　九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて
博多のうわさ 9月号 雑誌うわさ社発行		「唐津・鍋島・柿右衛門　九州古陶磁の精華～田中丸コレクションのすべて」
陶説 666 9月号		福岡市美術館「九州古陶磁の精華～田中丸コレクションのすべて」展より／尾崎直人（福岡市美術館学芸課長） 後藤 恒（福岡市美術館学芸員）

没後40年　レオナール・フジタ展

西日本新聞（朝刊）	H.20.3.2	フジタ幻の大作／「構図」「争闘」の連作4点／修復終え　日本巡回展示へ
西日本新聞（夕刊）	H.20.4.30	フジタの大作　"パリに安住"／幻の連作4点、常設展示施設／来年2月、福岡で巡回展
読売新聞（朝刊）	H20.11.6	藤田嗣治　謎めく大作群像／画題不詳　1928年の「構図」「争闘」／没後40年　全国巡回展
西日本新聞（朝刊）	H21.1.3	催し　地域とともに／2009年　本社の主な事業／没後40年　レオナール・フジタ展／世界が認めた乳白色
西日本新聞（朝刊）	H21.1.15	「レオナール・フジタ展」見どころ紹介／30日、福岡市の九州日仏学館／学芸員の三谷さんが講演
地元新聞　日田市版	H21.1.18	世界を魅了した天才画家、藤田嗣治　レオナール・フジタ展
西日本新聞（朝刊）	H21.1.31	フジタ展の魅力紹介／市美術館学芸員三谷さんが講演／独特の画風解説
西日本新聞（朝刊）	H21.2.5	PICK UP／レオナール・フジタ展／22日ー4月19日、福岡市美術館／日本初公開の「幻の大作」も
西日本新聞（朝刊）	H21.2.7	「レオナール・フジタ展」開催を記念／22日、福岡市で講演会
西日本新聞（朝刊）	H21.2.12	本社の事業／"幻の大作"見もの／没後40年　レオナール・フジタ展／22日から福岡市／パリ郊外で発見の4点／素描や関連作も展示／来月14日に記念講演会
西日本新聞（朝刊）	H21.2.20	天才画家の栄光と苦悩　レオナール・フジタ展から①／研鑽　肌の質感を追い求め／（三谷理華・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H21.2.20	大作4点一挙公開へ／22日から「フジタ展」／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.2.21	天才画家の栄光と苦悩　レオナール・フジタ展から②／発見　倉庫に保管幻の大作／（三谷理華・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H21.2.23	乳白色の美ファン魅了／「フジタ展」開幕
西日本新聞（朝刊）	H21.2.25	天才画家の栄光と苦悩　レオナール・フジタ展から③／群像　「西欧」の伝統に挑む／（三谷理華・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H21.2.26	天才画家の栄光と苦悩　レオナール・フジタ展から④／子ども　新時代への希望託し／（三谷理華・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H21.2.27	天才画家の栄光と苦悩　レオナール・フジタ展から⑤／洗礼　晩年に独自の宗教画／（三谷理華・福岡市美術館学芸員）
西日本新聞（朝刊）	H21.2.27	ひと／「レオナール・フジタ展」の絵画を点検した修復家　岩井希久子さん／（文化部・南條 進）
西日本新聞（朝刊）	H21.3.3	藤田嗣治レオナール・フジタの肖像1／幻の大作／母校に贈ったデッサン
西日本新聞（朝刊）	H21.3.5	藤田嗣治レオナール・フジタの肖像2／努力と戦略／モンパルナスの有名人
西日本新聞（朝刊）	H21.3.6	藤田嗣治レオナール・フジタの肖像3／乳白色の地／やっと見えてきた秘密
西日本新聞（朝刊）	H21.3.6	入場者1万人を突破／「レオナール・フジタ展」／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.3.7	藤田嗣治レオナール・フジタの肖像4／群像表現／ルネサンス壁画に挑戦
西日本新聞（朝刊）	H21.3.10	藤田嗣治レオナール・フジタの肖像5／教会壁画／安住の地求めた異邦人
西日本新聞（朝刊）	H21.3.10	フジタ展記念し演奏会／15日、福岡市美術館で
西日本新聞（朝刊）	H21.3.11	乳白の美に酔う／レオナール・フジタ展／来月19日まで　福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.3.11	デスク日記／（宇田）
西日本新聞（朝刊）	H21.3.13	レオナール・フジタ展関連／本紙記者が逸話など披露／22日、天神文化サークルで
西日本新聞（夕刊）	H21.3.14	世界を魅了した天才画家／「レオナール・フジタ展」　4月19日まで、福岡市美術館／藤田嗣治の偉業／幻の群像大作日本初公開
西日本新聞（朝刊）	H21.3.18	「自我」追い求めて／藤田嗣治が記した日本／渡仏　日本画でもなく西洋画でもない。／従軍　はじめて、自己自然の姿に立ち帰り／晩年　迷路の中に一生を終わる。／（文化部・平原奈央子）
西日本新聞（朝刊）	H21.3.22	春秋
西日本新聞（朝刊）	H21.3.25	私のレオナール・フジタ像　没後40年に寄せて①／画家　菊畑茂久馬さん／西洋追従の歴史に風穴
西日本新聞（朝刊）	H21.3.25	フジタ展が3万人突破／福岡市美術館
西日本新聞（朝刊）	H21.3.25	こだま／人物像知ったフジタ美術展／石橋みずえ＝50／（福岡市西区）
西日本新聞（朝刊）	H21.3.26	私のレオナール・フジタ像　没後40年に寄せて②／太鼓奏者　英哲さん／天使の絵に意地を見た
西日本新聞（朝刊）	H21.3.27	私のレオナール・フジタ像　没後40年に寄せて③／作家　伊集院 静さん／平和への祈りを込めて
朝日新聞（夕刊）	H21.3.27	ART&CULTURE／美術　批評!／「レオナール・フジタ」展／善悪超えた生への愛情／（中村共子・フリーランサー）
西日本新聞（朝刊）	H21.3.28	私のレオナール・フジタ像　没後40年に寄せて④／「美の巨人たち」ナレーター・俳優　小林 薫さん／生きた証しとして造る
西日本新聞（朝刊）	H21.4.9	藤田とフジタと／宗教画で感じたひたむきさ／野見山暁治
西日本新聞（朝刊）	H21.4.11	レオナール・フジタ展／入場者が5万人突破／福岡市美術館
朝日新聞（夕刊）	H21.4.15	文化／私の収穫／視力　作家 高樹のぶ子

月刊くるめ Vol.362（2009年2月号）	EVENT&ART／世界を魅了した天才画家レオナール・フジタの「幻の作品」 日本で初めて一堂に揃ったかたちで公開!／世界を魅了した天才画家の幻の大作、日本で初めて一堂に展示／没後40年 レオナール・フジタ展
北九州 おい街Vol.372（2009年2月号）（株）リセット出版発行	EVENT&ART／レオナール・フジタの「幻の作品」を紹介!! ／世界を魅了した天才画家の幻の大作、日本で初めて一堂に展示／没後40年 レオナール・フジタ展
福岡モン Vol.16（2009 年 2 月号）	EVENT&ART／世界を魅了した天才画家レオナール・フジタの「幻の作品」 日本で初めて一堂に揃ったかたちで公開!／
branch No.363（2009 年 2 月号）（株）西日本支店長会発行	世界を魅了した天才画家の幻の大作、日本で初めて一堂に展示／没後40年 レオナール・フジタ展西日本新聞社主催美術展のお知らせ／「レオナール・フジタ展」／世界を魅了した天才画家、藤田嗣治
シティ情報ふくおか CLASS No.686（2009 年 2 月号）（株）シティ情報福岡発行	「天才」の名をほしいままにした画家の、その芸術と人間性に迫る／レオナール・フジタ展［没後40年］
博多のうわさ 2 月号 雑誌うわさ社発行	お客様横町／「レオナール・フジタ展」
Tasc Monthly no.398（2009 年 2 月号）	研究余録／レオナール・フジタ展・マクロプロス家の事・江戸宵闇妖鉤爪／たばこをめぐる三つの話題(4)／TASC研究副部長 大久保雅夫
九州ウォーカー 2009 no.5（2009 年 3 月 3 日号）（株）角川クロスメディア発行	News Walker Plus／フランスで活躍した日本人画家「レオナール・フジタ展」が開催
THE NAGASAKI No.630（2009 年 2 月 2 日号）（有）ザ・ながさき発行	ART／レオナール・フジタ展 没後40年／世界的天才画家、藤田嗣治の幻の群像大作を日本初公開
読者とつくる生活情報紙 えりあす（2009 年 2 月 21 日号）西日本新聞社発行	information／「レオナール・フジタ展」／幻の大作日本初公開
Twelve Stars vol.27（2009 年 3 月号）福岡 EU 協会会報	vol.4アートで旅するEU／藤田と若き芸術家たちの青春の思い出ーパリ、モンパルナスのカフェ／三谷理華
ぐらんざ No.112（2009 年 3 月 1 日号）（株）西広案内発行	ART／01 世界を魅了した、天才画家。藤田嗣治の生涯。／福島朋子＝選・文

第43回福岡市美術展

西日本新聞（朝刊）	H21.1.24	福岡市美術展／最高賞に小野さん（東区の大学生）／入賞 入選700点 来月3日から展示
毎日新聞（朝刊）	H21.1.24	福岡市美術展／最高賞に小野さん（九産大4年）／7部門に応募1262点 入賞・入選者決まる／（早田利信）
西日本新聞（朝刊）	H21.1.27	福岡市美術展入賞者
毎日新聞（朝刊）	H21.1.27	第43回福岡市美術展入賞者
西日本新聞（朝刊）	H21.1.28	福岡市美術展入賞者（上）
西日本新聞（朝刊）	H21.1.29	福岡市美術展入賞者（下）
朝日新聞（朝刊）	H21.2.1	福岡市美術展／最高賞に小野さん／九産大生、日本画描き
西日本新聞（朝刊）	H21.2.4	福岡市美術展始まる／市美術館 入選・入賞作品737点展示

■常設展

ロンリー・ハートー平野遼・筧忠治・相笠昌義

「旅」情報誌 遊人 2008年6・7月号 ウイルプランニング発行	美術館・博物館情報／福岡市美術館／ロンリー・ハートー平野遼・筧忠治・相笠昌義ー（西本コレクション）

茶道具の舞台裏

西日本新聞（朝刊）	H.20.6.29	ミュージアムめぐり 学芸員のいちおし(7)／「茶道具の舞台裏」展 福岡市美術館 岩永悦子さん／名品を支える茶人の「心」

ラファエル・コランの挿絵版画

西日本新聞（朝刊）	H20.9.18	ミュージアムめぐり 学芸員のいちおし(18)／挿絵版画 福岡市美術館 三谷理華さん／響き合う芸術家のコラボ

クスマ・コレクション　スマトラ島の染織

「旅」情報誌 遊人 2008年12・1月号 ウイルプランニング発行		美術館・博物館情報／福岡市美術館／スマトラ島の染織　クスマ・コレクション

版画家の年賀状とカレンダー

西日本新聞（朝刊）	H20.12.11	ミュージアムめぐり　学芸員のいちおし(29)／版画家の年賀状展　福岡市美術館　山本香瑞子さん／芸術の香気と個性あふれ

■常設企画展

21世紀の作家ー福岡 bis 2009

西日本新聞（朝刊）	H21.3.1	ミュージアムめぐり　学芸員のいちおし(39)／21世紀の作家展　福岡市美術館　山口洋三さん／若い才能弾ける絵画表現
朝日新聞（夕刊）	H21.3.6	美術　批評！／21世紀の作家ー福岡 bis 2009展／瞬間描き　想像力を刺激／（中村共子・フリーランサー）
読売新聞（夕刊）	H21.3.13	「21世紀の作家ー福岡 bis 2009」29日まで 福岡市美術館／学芸員「見せたい作家」3人競演／（白石知子）
シティ情報ふくおかCLASS No.685（2009年1月号）（株）シティ情報ふくおか発行		今月のエンタテイメント　ART／21世紀の作家ー福岡 bis 2009／新しい表現に果敢に挑戦する、3人の作家たち

福岡と雲谷派　城郭襖絵「梅に鴉図」の謎

西日本新聞（夕刊）	H21.1.18	筑前名島城にあった重要文化財／城郭襖絵「梅に鴉図」の謎／来年8月まで、福岡市美術館／作者解明など7つの謎を考案
「旅」情報誌 遊人 2009年2・3月号 ウイルプランニング発行		美術館・博物館情報／福岡市美術館／城郭襖絵「梅に鴉図」の謎

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術とのより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年度より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークをはじめ、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリーツアー（スクールツアー・プログラム）

学校団体への常設展示鑑賞のサポートとして、教師との事前打ち合わせなどをもとに、ギャラリーガイドボランティアによるギャラリートークを行っている。平成20年度の学校利用は以下の通り。

スクールツアー・プログラムの利用学校

平成20年

4月23日（水）	福岡大学	学生12人	引率1人
5月14日（水）	警固小学校6年生	児童82人	引率4人
6月20日（金）	原中学校美術部（1〜3年生）	生徒20人	引率1人
6月25日（水）	玄界小学校3年生	児童5人	引率1人
7月29日（火）	原中学校美術部	生徒12人	引率1人
9月10日（水）	城香中学校1年生＊	生徒88人	引率8人
9月11日（木）	東住吉中学校1年生	生徒58人	引率6人
9月25日（木）	愛宕小学校6年生	児童67人	引率3人
9月26日（金）	愛宕小学校6年生	児童65人	引率3人
10月 7日（火）	香椎浜小学校2年生	児童48人	引率4人
10月10日（金）	当仁小学校（部活動）	児童17人	引率2人
10月15日（水）	千早小学校6年生	児童71人	引率3人
10月16日（木）	春住小学校1、2年生	児童132人	引率6人
10月16日（木）	愛宕浜小学校6年生	児童120人	引率5人
10月28日（火）	和白中学校2年生＊	生徒109人	引率5人
11月12日（水）	簀子小学校6年生	児童29人	引率2人
11月12日（水）	草ヶ江小学校2年生	児童35人	引率1人
11月28日（金）	福岡雙葉小学校5年生	児童107人	引率6人
12月 2日（火）	三苫小学校6年生	児童125人	引率4人
12月10日（水）	下山門小学校5年生	児童142人	引率4人
12月10日（水）	花畑小学校3年生	児童101人	引率4人
12月11日（木）	周船寺小学校5年生	児童77人	引率3人
12月11日（木）	三筑小学校5年生	児童114人	引率3人
12月12日（金）	周船寺小学校5年生	児童77人	引率3人
12月17日（水）	玄洋小学校5年生	児童105人	引率3人

平成21年

1月14日（水）	高取小学校5年生	児童174人	引率5人
1月20日（火）	那珂南小学校5年生	児童93人	引率3人
1月23日（金）	筥松小学校5年生	児童88人	引率4人
2月 3日（火）	宮竹小学校5年生	児童154人	引率6人
2月 5日（木）	松崎中学校1年生＊	生徒147人	引率8人
2月12日（木）	堤丘小学校5年生	児童41人	引率3人
2月12日（木）	長丘小学校5年生	児童95人	引率4人
2月17日（火）	東箱崎小学校5年生	児童66人	引率3人
2月17日（火）	屋形原特別支援学校1〜3年生	生徒5人	引率9人
2月19日（木）	赤坂幼稚園	園児76人	引率4人 保護者9人
2月20日（金）	大原小学校6年生	児童82人	引率3人
2月20日（金）	西長住小学校5年生	児童70人	引率3人
2月25日（水）	有田小学校5年生	児童108人	引率3人
2月26日（木）	田隈中学校1年生＊	生徒236人	引率11人
2月27日（金）	香住丘小学校5年生	児童144人	引率4人
3月 3日（火）	城南小学校5年生	児童118人	引率5人
3月 3日（火）	有住小学校5年生	児童44人	引率3人
3月 6日（金）	東花畑小学校5年生	児童71人	引率3人
3月18日（水）	南当仁小学校4年生	児童62人	引率2人
3月19日（木）	南当仁小学校4年生	児童63人	引率2人

＊は体験学習による来館校

中学校交流ワークショップ2008「美術館の作品をアーティストとトークしよう」

日　　程：平成20年7月29日（火）、30日（水）、31日（木）
会　　場：常設展示室
参 加 者：青葉中学校、香椎第一中学校、警固中学校、筑紫丘中学校、東住吉中学校、福岡中学校、舞鶴中学校、吉塚中学校、和白中学校（50音順・全て福岡市立中学校）の約70名の中学生
参加アーティスト：牛嶋 均氏、大浦こころ氏、片山雅史氏、鈴木 淳氏（50音順）
主　　催：福岡市中学校美術教育研究会、福岡市美術館



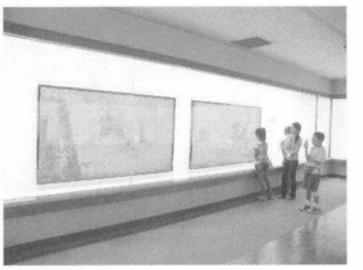
内　　容：美術館に飾られている作品を市内中学生が他校の生徒とグループを作り、美術作家と作品について語り合って鑑賞を深めた。学生や作家という立場を越えて、同じ作品に集中して、さまざまな意見、感想が飛び交う活気のある鑑賞となった。

夏休みこども美術館2008

こどもたちに、当館の所蔵品を知り、またそれらに親しんでもらうための、展示・ワークショップ・ギャラリートークを組み合わせた複合的な教育普及プログラム。平成20年度は「江戸のアート」をテーマにした企画を行った。

こどもギャラリー「江戸のアートを楽しもう!」

会　　期：平成20年7月23日(水)ー8月31日(日)
会　　場：古美術企画展示室
観 覧 料：常設展示観覧料(p.12参照)



内　　容：江戸時代福岡藩の藩主黒田家の資料から殿さまやお姫さまが使った道具や鑑賞した絵画などを展示した。日常には見られなくなった江戸時代の美術品を子供たちが鑑賞しやすいようにパネルを用いてわかりやすく展示した。出品点数11点。

こどもワークショップ「大濠八景を描いて巻き物にしよう!」

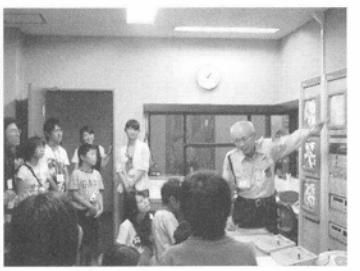
日　　時：7月26日(土)　午後1時～4時30分
会　　場：教養講座室・実技講座室
講　　師：水墨画＝李 蓓氏、安岡弘喜氏　巻物表装＝合屋善克氏
対　　象：小学生とその保護者15組　　参加者数：24人　　参加費：1人500円



内　　容：こどもギャラリーで風景を描いた巻物の作品《金沢之図》を鑑賞し、美術館に隣接する大濠公園の景色を巻物に描く親子向けのワークショップを行った。参加したこどもたちは、大濠公園で撮影したお気に入りの風景をもとに水墨画を描き、それに彩色をするなどして思い思いの作品を作った。その間に保護者たちは巻物の表装部分を作成し、親子の作品をあわせて一つの巻物を完成させた。

美術館探検

日　　時：8月の毎週水曜日(6, 13, 20, 27日)と第3土曜日(16日)それぞれ午前10時と午後1時の2回(約1時間)
対　　象：小学生(保護者も参加可)　毎回15人定員　　参加者数：223人
参 加 費：無料。保護者は常設展示観覧料が必要。
学生アシスタント：荒木文果、今本陽子、小田由輝子、樫村香那子、瓦田幸久、児玉佳子、徳永あずさ、中上 茜、西川幸奈、原 万里子、星子桃子、三留奈美、吉開崇人、吉富知里(50音順)



内　　容：学生アシスタントとともに美術館のバックヤードを探検しながら、こどもたちに美術館が持っている作品保存や展示の機能を知ってもらうというもの。その後、こどもギャラリーでは学生アシスタントによるギャラリートークを行った。なお、バックヤードツアーには、学生アシスタントとこどもたちとの親密なコミュニケーションをはかり、その後のギャラリートークをより効果的にするという意味もある。

こども向けギャラリートーク

日　　時：7月23日(水)ー8月31日(日)　毎日午後2時30分から約40分(休館日は除く)
参 加 費：小・中学生は無料。保護者は常設展示観覧料が必要。
参加者数：166人



内　　容：当館ギャラリーガイドボランティアによる、こども向けのギャラリートーク。ボランティアが常設展示の作品を3点選び、こどもと対話をしながら、わかりやすく作品を紹介した。なお、こどもだけでなく大人の参加も可とした。

夏休みこどもとしょかん

会　　期：7月23日(水)ー8月31日(日)
会　　場：1階　読書室

内　　容：p. 22を参照。

開館記念事業

図録フェア

日　　時：平成20年11月3日(月・祝)　午前10時～午後５時
会　　場：2階ロビー

内　　容：平成19年度までに福岡市美術館で開催された展覧会図録で在庫のあるものを定価の2割～5割引きで販売した。

博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により受け入れた。実習期間は平成20年5月14日より同年11月30日のうち2週間である。

■西南学院大学
阿比留由佳　文学部外国語学科　英語専攻　４年
小林史奈　　国際文化学部国際文化学科　４年

■福岡大学
平本史香　人文学部文化学科　４年
橋本昌子　人文学部文化学科　４年

■福岡女学院大学
田崎未佳子　人間関係学部人間発達学科　4年

■久留米大学
中島大喜　文学部国際文化学科　4年

■福岡教育大学
金子義盛　中等教育教員養成課程理科専攻　４年

■筑紫女学園大学
因 亜貴子　文学部英語学科　４年

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度2校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成20年	9月11日(木) 福岡市立片江中学校	5名
平成20年	10月 8日(水) 福岡市立友泉中学校	3名

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

■常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を特集した。

■特別展関連図書特集

・平成20年7月8日（火）—8月31日（日）「ボストン美術館 浮世絵名品展」関連
・平成20年9月9日（火）—10月26日（日）　「九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて」関連
・平成21年2月17日（火）—4月19日（日）　「没後40年　レオナール・フジタ展」関連

■読書室企画図書特集

夏休みこどもとしょかん
「よんでみよう！みてみよう！江戸のアート」



会　　期：平成20年7月23日（水）—8月31日（日）

内　　容：夏休みこども美術館2008こどもギャラリー「江戸のアートを楽しもう！」の開催に関連して、美術について興味を持ち、理解を深めてもらえるよう、美術の歴史や美術作品の鑑賞のヒントが書かれている児童書やこどもたちにとって比較的身近な存在である絵本など15冊を特集した。

ボランティア活動

■ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では大きくギャラリーガイドボランティア、と美術情報ボランティアの二つのセクションに分かれ、「美術館の活動を支援し、且つ、自らのスキルを社会に還元すること」を目標に、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。なお、美術情報ボランティアは、さらに新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアと分かれる。

・ボランティア研修

ボランティア活動を向上させるため、他館ボランティアの活動を視察し、意見交換など交流する館外研修を行った。
日　程：平成20年5月24日（土）
参加者：福岡市美術館ボランティア　23名　学芸課　渡邊雄二、中原千代子
研修先・研修内容



1. 熊本市現代美術館
担当学芸員からのボランティア活動についての説明。音楽演奏ボランティアや花を生けるボランティアがあることを知る。施設、展示の視察。

2. 熊本県立美術館
担当職員から活動の説明。ボランティアとの意見交換。美術館による公募ではなく、ボランティア自身が立ち上げた美術館ボランティア。経費も自分たちで毎月支払うとのこと。

■各ボランティアの活動

平成20年度の登録人数：70人

ギャラリーガイドボランティア

・ギャラリーツアー
開館日の午前11時～11時40分と午後2時～2時40分に、参加費無料（常設展示観覧料のみ）のギャラリーツアーを行っている。ボランティアは、自ら決めたテーマに沿って常設展示の作品から３点を選び、参加者と対話を重視しながら作品を紹介する。（「夏休みこども美術館」期間中は、こども向けギャラリートーク（p.20参照）を実施するため、午後２時からのツアーは休止。）
参加者数：556人

・ギャラリーツアー for キッズ!

平成20年度より始まったこどもを対象としたギャラリーツアーである。毎月第２土曜日、第２日曜日の午後２時から約１時間で、ボランティア自身が定めたテーマに沿い、こどもの目線に立って対話をしながら３点の作品を案内する。
参加者数:48人

・団体向けツアー

上記ギャラリーツアー以外に、申し込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は下記の通り。なお、市内の学校団体向けのツアーは「こどもアートアドベンチャー」の項目(P.19)を参照のこと。

平成20年

6月 12日(木)	JSA	26人
7月 2日(水)	北九州市立守恒中学校	生徒14人
8月 3日(日)	豊前市教育委員会	小学生15人、中学生2人、引率9人
8月 17日(日)	福岡教育大学附属中学校美術部	生徒11人 引率1人
8月 26日(火)	大分県日田市上津江公民館	こども46人 引率3人
9月 14日(日)	笑○の会	30人
10月 9日(木)	宗像市立吉武小学校5年生	児童16人 引率2人
10月 25日(土)	西南学院大学児童教育学科	20人
10月 29日(水)	朝倉市立金川小学校5年生	児童20人 引率4人
11月 12日(水)	柳川市立水洗小学校5年	児童37人 引率2人
11月 13日(木)	母の会	8人
11月 13日(木)	宗像市立玄海東小学校6年生	児童37人 引率3人
11月 16日(日)	下麻田同志会	20人
11月 20日(木)	筑後市立水田小学校5年生	児童45人 引率2人
11月 26日(水)	日本和装ホールディングス(株)	10人
11月 26日(水)	西障がい者フレンドホーム	21人
11月 27日(木)	西障がい者フレンドホーム	8人

平成21年

2月 15日(日)	福岡ふれあい健康ウォーキングクラブ	27人
3月 14日(土)	石橋美術館ボランティア	15人
3月 19日(木)	大分県立芸術会館サポーター	13人
3月 25日(水)	直方市感田町西部公民館	小学生20人 引率2人

新聞情報ボランティア

平成20年度の登録人数:32人

・活動日

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。
月曜日:毎日新聞、火曜日:読売新聞、水曜日:西日本新聞、木曜日:朝日新聞、土曜日:日本経済新聞

・活動内容

月に2回共同作業日(原則毎月10日前後と月末)を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度もおおむね月1回ペースで作成した(第69号～第79号)。

平成20年

- 4月 10日(木) 共同作業 2月分記事チェック、ファイル(参加7名)
- 4月 19日(土) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第69号作成
- 4月 21日(月) 共同作業 訃報記事整理(参加11名)
- 5月 10日(土) 共同作業 3月分記事ファイル、1981年分福岡市美術館関連記事の見直し、1981年分展覧会案内ファイル作り(参加４名)
- 5月 19日(月) 月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第70号作成
- 5月 27日(火) 共同作業 訃報記事整理(参加10名)
- 6月 10日(火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第71号作成
  共同作業 4月分記事見直し(参加8名)
- 6月 25日(水) 共同作業 訃報記事整理、読み合わせ、1986年、1987年分記事の整理(参加10名)
- 7月 8日(火) 共同作業 1981年分記事整理(参加4名)
- 7月 22日(水) 水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第72号作成
- 7月 24日(木) 共同作業 訃報記事整理、貼付、1979、1980年分福岡市美術館関連記事台紙貼、2007年5月分記事整理、ファイル(参加5名)
- 8月 23日(土) 共同作業 訃報記事整理、6月分記事ファイル(参加7名)
- 8月 28日(木) 木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第73号作成
- 9月 10日(水) 共同作業 1985年分記事ファイル作成(参加8名)
- 9月 27日(土) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第74号作成
- 9月 29日(月) 共同作業 訃報記事整理(参加7名)
- 10月 11日(土) 共同作業 8月分記事ファイル、1983年の記事整理(参加3名)
- 10月 27日(月) 月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第75号作成
- 11月 10日(月) 共同作業 9月分記事チェック、1990～1998年ミュージアムシティ関連記事ファイル作り(参加8名)
- 11月 26日(水) 共同作業 訃報記事整理(参加9名)
- 12月 9日(火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第76号作成
- 12月 10日(水) 共同作業 10月分記事ファイル、図書室に配荷(参加8名)

平成21年

- 1月 10日(土) 共同作業 11月分記事チェック、ファイル(参加2名)
- 1月 28日(水) 水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第77号作成
- 2月 2日(月) 共同作業 訃報記事整理、ファイル(参加４名)
- 2月 10日(火) 共同作業 2008年12月記事ファイル(参加7名)
- 2月 26日(木) 木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第78号作成
- 2月 28日(土) 共同作業 訃報記事整理、2008年12月分ファイル配荷(参加6名)
- 3月 9日(月) 共同作業 1月記事ファイル、1984年記事ファイル(参加７名)
- 3月 19日(木) 大分県立美術館ボランティア見学受け入れ、懇親会参加(参加２名)
- 3月 25日(水) 共同作業 会議、懇親会、訃報記事ファイル、台紙貼り、データベース入力(参加16名)
- 3月 28日(土) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第79号作成

図書整理ボランティア

平成20年度の登録人数：18人

・活動日

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

・活動内容

○目録カード整理作業

目録カードに標目を記載する。

分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

○パンフレット資料整理作業

作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

○広報誌整理作業

他機関発行の広報誌を綴じる作業および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

○情報誌・雑誌整理作業

タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。

福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

○紀要・年報類の受入作業

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。

資料を書架に配架する。

○原簿内容変更作業

原簿の記載内容をチェックし変更する。

○掲載作家名パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。

美術家情報整理ボランティア

平成20年度の登録人数：11人

・活動日

火曜日～木曜日　各曜日で午前と午後に分かれて作業を行う。また、月に1回共同作業日を設け、展覧会案内ハガキを保存する封筒の整理と大きさの切り替えを行っている。

・活動内容

美術館に郵送されてくるDMを分類し、作家名、展覧会名、会期、会場、その他の情報をデータベースに入力。入力と校正の済んだハガキはカード資料室に整理して保管する。また、カード資料室でハガキを収納する封筒の大きさを順次小さいものに変更し、収納スペースの確保をはかっている。平成21年３月末現在で7,846件のデータ入力が完了した。

出版物

■展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
唐津 鍋島 柿右衛門 九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて	A4変形	266	福岡市美術館編集・朝日新聞社事業本部西部企画事業チーム発行
福岡と雲谷派　城郭襖絵「梅に鴉図」の謎	A4変形	96	福岡市美術館編集・発行
21世紀の作家ー福岡 bis 2009	A4変形	28	福岡市美術館編集・発行
第43回福岡市美術展	A4変形	48	福岡市美術展運営委員会編集・発行

■常設展リーフレット

近現代美術リーフレット

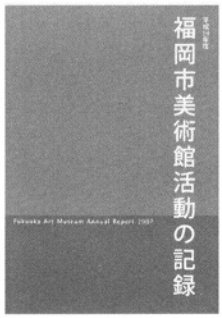
No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
261	シリーズ美術の技法Ⅰコラージュ	A4	4	小作品室	平成20年4月1日
	ロンリー・ハートー平野遼・筧忠治・相笠昌義(西本コレクション)	A4	6	日本画工芸室・小作品室・企画展示室	平成20年5月27日
262	近代木版画の美	A4	6	小作品室・日本画工芸室	平成20年7月15日
263	ラファエル・コランの挿絵版画	A4	6	小作品室	平成20年9月9日
264	版画家の年賀状とカレンダー	A4	4	小作品室	平成20年11月5日
	時代で見る美術Ⅰ　1890年代～1900年代	A4	4	日本画工芸室	平成20年11月5日
265	永井一正の版画	A4	4	小作品室	平成21年1月6日
266	ヨーゼフ・ボイスの版画	A4	4	小作品室	平成21年2月17日

古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
184	漆のアジア	A4	4	古美術企画展示室	平成20年4月8日
185	茶道具の舞台裏	A4	4	松永記念館室	平成20年5月24日
186	耳庵の愛した逸品	A4	4	松永記念館室	平成20年7月23日
187	仙厓展ー三宅酒壺洞と仙厓	A4	4	古美術企画展示室	平成20年9月2日
188	クスマ・コレクション　スマトラ島の染織	A4	4	古美術企画展示室	平成20年11月5日
189	湯沸かしの具	A4	4	松永記念館室	平成20年11月5日
190	福岡と雲谷派　城郭襖絵「梅に鴉図」の謎	A4	8	古美術企画展示室	平成21年1月6日
191	タイ・ベトナムの陶磁～本多コレクションを中心に	A4	6	古美術企画展示室	平成21年2月10日

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成19年度　福岡市美術館活動の記録	A4	58	平成21年3月16日



■美術館ニュース　エスプラナード

No.	発行日	内　容	規格	頁数
151	平成20年4月1日	平成20年度 福岡市美術館 年間スケジュール／常設展示より　茶道具の舞台裏／常設展示より　ロンリー・ハート／福岡市美術館のコレクション　石村コレクション　慈愛とユーモアにあふれた仙厓書画／所蔵品紹介　近現代美術No.266　オペラグラス3　中村 宏／教育普及活動のお知らせ　ギャラリーツアー for キッズ!始めます／学芸員だより　てのひらのほとけをたずねて／福岡市美術館展覧会スケジュール 4月→6月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12
152	平成20年7月1日	ボストン美術館浮世絵名品展／唐津 鍋島 柿右衛門　九州古陶磁の精華　田中丸コレクションのすべて／夏休みこども美術館2008　夏休みだ!福岡市美術館に来てアートを楽しもう!!／常設展示より　世界・日本・九州の美術　20世紀から21世紀へ／所蔵品紹介　近現代美術No.267　大理石の皮膚ーアカシアのとげ　ジュゼッペ・ペノーネ／学芸員だより　第8回21世紀の作家ー福岡　和田千秋「障碍の美術Xー祈り」を支えた「縁の下の力持ち」さんたちのお話／福岡市美術館展覧会スケジュール7月→9月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12
153	平成20年10月1日	唐津 鍋島 柿右衛門 九州古陶磁の精華 田中丸コレクションのすべて／福岡市美術館　観覧者数2000万人突破!／教育普及報告　中学校交流ワークショップ　美術館の作品をアーティストとトークしよう!／常設展示より　ラファエル・コランの挿絵版画／福岡市美術館のコレクション1　三宅コレクション　仙厓研究家　三宅酒壺洞が集めた仙厓作品／福岡市美術館のコレクション2　クスマ・コレクション　インドネシア染織の精華／所蔵品紹介　近現代美術　No.268　夏(1)・夏(2)　草間彌生／学芸員だより　襖絵「梅に鴉図」の謎は解けるか?／福岡市美術館展覧会スケジュール10月→12月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12
154	平成21年1月1日	[没後40年]レオナール・フジタ展／城郭襖絵「梅に鴉図」の謎／21世紀の作家ー福岡 bis 2009／所蔵品紹介　古美術No.269　金剛仏坐像／学芸員だより　学芸員の仕事とよろこび／福岡市美術館展覧会スケジュール1月→3月／他館の展覧会案内／福岡市美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12



エスプラナード151～154号▶

西日本の雪舟伝承とその史跡を追う

渡邊雄二

調査期間：平成20年8月～平成21年7月

本館において平成19年（2007）に開催した「九州から見た雪舟」展（古美術常設企画展）に調査し得なかった福岡周辺の雪舟伝承や雪舟に関する史跡、資料を調査した。

雪舟研究は、それ自体が日本美術史の一つの軸を形成するように東京など中央の研究者によって文献を中心に研究されてきたように思われる。近年は中国や韓国の文献もその範疇に含むなど広がりを見せてきているが、雪舟を「具体的に語る言葉」を見出すことはむずかしい。そこで、西国（九州・山口）に住む雪舟研究者としては、地元に残される雪舟を語る言葉に耳を傾けて、そうした言葉の中に「実在した生身の人間としての雪舟像」を示すものがないか検証しようと考えた。

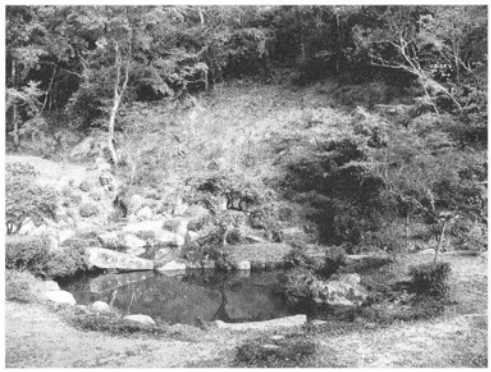
雪舟を語る言葉を探すため、まず各地の文化財担当者に伝承の有無を問う調査票を配布した。島根県から沖縄県まで100個所を選んで送付したが、返答は約３割で多くは雪舟伝承はないとの答えであった。これは「雪舟」という存在に対して、各担当者が自らの地域と結びつけることへの躊躇、あるいは伝承を事実とみなさない歴史観からによるものと考えられる。したがって調査は形となって残る雪舟が作ったとする、いわゆる「雪舟庭」を中心に行った。ここでもそれぞれの地域の文化財担当者と話をしたが、自ら雪舟庭を肯定する意見は少なかった。どちらかといえばあくまで「伝承」であって、事実とは言えないという立場がほとんどであった。しかし、伝承の庭を訪ねていくと、多くは同様の構成で、どこか製作者を共通にするように見受けられた。そうした庭の存在が町の中の臨済宗寺院に限られたものではなく、山岳信仰の有力者との関連も考えられるような地域（たとえば英彦山七里結界といわれる信仰の領域など）に存在するのを認めざるを得なかった。そこから想定されるのは雪舟が地方においては禅宗など中央の人脈とつながる関係ばかりでなく、山岳信仰の人々、例えば英彦山（福岡県、大分県）の山伏などとも関係が深かったのではないかということである。

雪舟はなぜさまざまな人と結びついたのかと考えると、西国での活動＝大陸との結びつきという文化、経済上の必然性に基づくのではないかと考えた。交易の現場とその周辺の状況は明らかにしがたいが、西国における海や山の勢力と結びつくことは考えやすく、雪舟が渡明した応仁の遣明船などは九州（大分、鹿児島）の硫黄が重要な貿易品であったことも大きな要素かと思われる。雪舟と同時に入明した桂庵玄樹は豊後、薩摩での事跡が知られるが、この硫黄との関わりは看過できない。そしてほぼ同時期に豊後に滞在した雪舟もけっしてこのことと無関係とは言いがたい。彼らは京都など中央へ進出することなく地方文化の交流に尽くした画家あるいは儒者と見られがちであるが、その実態は東アジア（大陸）への最前線に居住する交易の達人達であったのかもしれない。

本調査は2008年度サントリー文化財団人文科学社会科学に関する研究助成によった。



▲益田市雪舟墓



▲川崎町魚楽園



▲雪舟の弟子秋月が滞在した福昌寺

美術資料

■美術資料収集件数一覧

近現代美術			古美術			
購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	総計
1件	217件	218件	0件	84件	84件	302件

■近現代美術

購　入

郷土作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-59	藤 浩志	P.N.G.	1988-2003	飛行機：102×308×223 ヤセ犬(5体)：各30×15×70 野豚：23×34×56 写真(24枚)：5.3×36.2	木、塗料、紙、金属、写真	42000310

寄　贈

郷土作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-574	伊藤研之	題不詳(ピエロ)	1954	45.2×37.6	油彩・画布	42006429
1-A-575	木下邦子	実と花	1960	120.2×126.5	油彩・画布	42006527
1-A-576	熊代 駿	緑の中のコウモリ	1957	100.2×80.2	油彩・画布	42006528
1-A-577	熊代 駿	くじゃくと梟	1959	80.0×65.3	油彩・画布	42006529
1-A-578	山内重太郎	アルジェリアの男	1958	91.5×72.7	銅板、アスファルト、石膏・板	42006533
1-A-579	吉田 博	山里の春	1920頃	60.8×80.3	油彩・画布	42006534

郷土作家　日本画等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-220	冨田溪仙	神庫(試作)	1926	136.7×117.1	絹本着色	42010523

郷土作家　版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-E-947	小川幸一	赤い原石No.4-S	2003	120.2×120.2	シルクスクリーン・紙	42006524
1-E-948	小川幸一	1999　永田町、国会議事堂	1999	35.5×50.3	シルクスクリーン・紙	42006523

郷土作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-61	藤野忠利	光る球 A	1968	78.0×99.1×99.1	アクリル材、木、蛍光灯、水	42006430
1-G-62	藤野忠利	光る球 B	1968	82.1×39.7×87.0	アクリル材、木、蛍光灯、水	42006531

日本作家　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-A-154	堀尾貞治	あたりまえのこと	1994	パーツごとに 167.5×21.1、167.1×21.9、 166.8×21.0、166.6×21.4、 165.7×21.3、166.8×20.8、 167.8×21.1、167.8×21.1	油彩・画布	42006532

日本作家　素描

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-D-1565	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第42回)挿絵原画	1935	28.1×39.9	墨・紙	42006514
2-D-1566	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第65回)挿絵原画	1935	28.1×40.1	墨・紙	42006515
2-D-1567	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第72回)挿絵原画	1935	28.1×40.1	墨、グアッシュ・紙	42006516

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-D-1568	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第91回)挿絵原画	1935	28.1×40.1	墨・紙	42006518
2-D-1569	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第92回)挿絵原画	1935	28.1×40.1	墨・紙	42006519
2-D-1570	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第93回)挿絵原画	1935	28.1×40.1	墨・紙	42006520
2-D-1571	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第99回)挿絵原画	1935	28.1×40.2	墨・紙	42006521
2-D-1572	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』(第101回)挿絵原画	1935	28.1×40.1	墨・紙	42006522
2-D-1573	恩地孝四郎	室生犀星『人間街』「繭子」(第53回以降)のカット原画	1935	19.5×17.5	墨・紙	42006517
2-D-1574	小穴隆一	佐藤春夫『更生記』(第122回)挿絵原画	1935	19.0×26.2	墨、グアッシュ・紙	42006513

日本作家　版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1554	上前智祐	(題名なし)	2000	51.9×72.0	シルクスクリーン・紙	42006430
2-E-1555	上前智祐	(題名なし)	2002	23.1×30.8	銅版・紙	42006431
2-E-1556	上前智祐	(題名なし)	2002	26.3×45.0	シルクスクリーン・紙	42006432
2-E-1557	上前智祐	(題名なし)	2002	26.8×45.1	シルクスクリーン・紙	42006433
2-E-1558	上前智祐	(題名なし)	2002	78.5×53.9	銅版・紙	42006434
2-E-1559	上前智祐	(題名なし)	2002	71.7×52.8	銅版・紙	42006435
2-E-1560	上前智祐	(題名なし)	2002	71.6×52.8	銅版・紙	42006436
2-E-1561	上前智祐	(題名なし)	2002	22.7×33.6	銅版・紙	42006437
2-E-1562	上前智祐	(題名なし)	2004	23.4×31.0	銅版・紙	42006438
2-E-1563	上前智祐	(題名なし)	2004	23.2×30.8	銅版・紙	42006439
2-E-1564	上前智祐	(題名なし)	2004	22.7×33.6	銅版・紙	42006440
2-E-1565	上前智祐	(題名なし)	2004	32.7×46.0	シルクスクリーン・紙	42006441
2-E-1566	上前智祐	(題名なし)	2004	32.7×46.0	シルクスクリーン・紙	42006442
2-E-1567	上前智祐	(題名なし)	2004	36.0×25.1	銅版・紙	42006443
2-E-1568	上前智祐	(題名なし)	2004	36.0×25.2	銅版・紙	42006444
2-E-1569	上前智祐	(題名なし)	2004	27.5×39.4	銅版・紙	42006445
2-E-1570	上前智祐	(題名なし)	2005	32.9×47.3	シルクスクリーン・紙	42006446
2-E-1571	上前智祐	(題名なし)	2005	46.7×34.0	シルクスクリーン・紙	42006447
2-E-1572	上前智祐	(題名なし)	2005	31.7×47.2	シルクスクリーン・紙	42006448
2-E-1573	上前智祐	(題名なし)	2005	31.7×47.2	シルクスクリーン・紙	42006449
2-E-1574	上前智祐	(題名なし)	2005	31.7×46.0	シルクスクリーン・紙	42006450
2-E-1575	上前智祐	(題名なし)	2006	36.3×24.8	シルクスクリーン・紙	42006451
2-E-1576	上前智祐	(題名なし)	2006	24.7×35.3	シルクスクリーン・紙	42006452
2-E-1577	上前智祐	(題名なし)	2006	32.8×24.3	シルクスクリーン・紙	42006453
2-E-1578	上前智祐	(題名なし)	2006	32.6×24.3	シルクスクリーン・紙	42006454
2-E-1579	上前智祐	(題名なし)	2006	24.9×25.5	シルクスクリーン・紙	42006455
2-E-1580	上前智祐	(題名なし)	2006	24.9×35.5	シルクスクリーン・紙	42006456
2-E-1581	上前智祐	(題名なし)	2006	36.4×25.2	シルクスクリーン・紙	42006457
2-E-1582	上前智祐	(題名なし)	2006	36.5×25.4	シルクスクリーン・紙	42006458
2-E-1583	上前智祐	(題名なし)	2006	35.8×24.6	シルクスクリーン・紙	42006459
2-E-1584	上前智祐	(題名なし)	2006	29.3×36.1	シルクスクリーン・紙	42006460
2-E-1585	上前智祐	(題名なし)	2006	36.3×25.0	シルクスクリーン・紙	42006461
2-E-1586	上前智祐	(題名なし)	2006	34.7×43.0	シルクスクリーン・紙	42006462
2-E-1587	上前智祐	(題名なし)	2006	36.3×25.0	シルクスクリーン・紙	42006463
2-E-1588	上前智祐	(題名なし)	2006	36.7×25.4	シルクスクリーン・紙	42006464
2-E-1589	上前智祐	(題名なし)	2006	36.0×24.7	シルクスクリーン・紙	42006465

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1590	上前智祐	(題名なし)	2007	24.7×24.7	シルクスクリーン・紙	42006466
2-E-1591	上前智祐	(題名なし)	2007	76.5×53.0	シルクスクリーン・紙	42006467
2-E-1592	上前智祐	(題名なし)	2007	76.5×53.0	シルクスクリーン・紙	42006468
2-E-1593	上前智祐	(題名なし)	2007	53.1×72.4	シルクスクリーン・紙	42006469
2-E-1594	上前智祐	(題名なし)	2007	76.4×53.0	シルクスクリーン・紙	42006470
2-E-1595	上前智祐	(題名なし)	2007	76.4×53.0	シルクスクリーン・紙	42006471
2-E-1596	上前智祐	(題名なし)	2007	73.2×58.5	銅版・紙	42006472
2-E-1597	上前智祐	(題名なし)	2007	27.7×35.3	シルクスクリーン・紙	42006473
2-E-1598	上前智祐	(題名なし)	2007	59.6×49.3	銅版・紙	42006474
2-E-1599	上前智祐	(題名なし)	2007	42.2×60.3	シルクスクリーン・紙	42006475
2-E-1600	上前智祐	(題名なし)	2007	42.2×60.3	シルクスクリーン・紙	42006476
2-E-1601	上前智祐	(題名なし)	2007	40.2×59.5	銅版・紙	42006477
2-E-1602	上前智祐	(題名なし)	2007	59.6×49.0	銅版・紙	42006478
2-E-1603	上前智祐	(題名なし)	2007	53.9×77.3	シルクスクリーン・紙	42006479
2-E-1604	上前智祐	(題名なし)	2007	76.4×64.1	銅版・紙	42006480
2-E-1605	上前智祐	(題名なし)	2008	59.8×55.8	銅版・紙	42006481
2-E-1606	上前智祐	(題名なし)	2008	50.9×66.6	シルクスクリーン・紙	42006482
2-E-1607	上前智祐	(題名なし)	2008	78.5×62.4	銅版・紙	42006483
2-E-1608	上前智祐	(題名なし)	2008	27.2×37.4	シルクスクリーン・紙	42006484
2-E-1609	上前智祐	(題名なし)	2008	17.6×25.6	銅版・紙	42006485
2-E-1610	上前智祐	(題名なし)	2008	18.3×25.6	銅版・紙	42006486
2-E-1611	上前智祐	(題名なし)	2008	29.1×40.0	銅版・紙	42006487
2-E-1612	上前智祐	(題名なし)	2008	27.3×37.5	シルクスクリーン・紙	42006488
2-E-1613	上前智祐	(題名なし)	2008	39.7×29.0	銅版・紙	42006489
2-E-1614	上前智祐	(題名なし)	2008	39.5×29.0	銅版・紙	42006490
2-E-1615	上前智祐	(題名なし)	2008	52.1×73.6	シルクスクリーン・紙	42006491
2-E-1616	上前智祐	(題名なし)	2008	38.7×29.0	銅版・紙	42006492

日本作家　彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-G-39	北山善夫	これが私の夫ですよ	1988	130.0×145.5×127.0	竹、銅、革	42006525
2-G-40	北山善夫	私にもたらされたもの	1988	145.5×130.0×127.0	竹、銅、革	42006526

西本コレクション　油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
16-A-168	オノサト・トシノブ	三つの巴の円	1979	100.0×100.0	油彩・画布	42006574
16-A-169	木下 晋	M女子像	1978	99.6×80.4	油彩・画布	42006575
16-A-170	黒崎 彰	黄と黒の告知	1995	94.1×64.6	手漉き紙(楮、アバカ、パルプ)、顔料・紙(パネルに貼付)	42006616
16-A-171	黒崎 彰	アポロンの壁528	2001	96.5×66.8	手漉き紙(楮、パルプ)、柿渋・紙(パネルに貼付)	42006617
16-A-172	黒崎 彰	トラキアの壁-568 トリプティック(中)	2004	152.5×77.0	木版、手漉き紙(コットン、楮)、顔料、金属粉、柿渋・紙(パネルに貼付)	42006618
16-A-173	黒崎 彰	トラキアの壁-569 トリプティック(右)	2004	153.0×69.1	木版、手漉き紙(コットン、楮)、顔料、金属粉、柿渋・紙(パネルに貼付)	42006619
16-A-174	黒崎 彰	トラキアの壁-570 トリプティック(左)	2004	152.8×68.4	木版、手漉き紙(コットン、楮)、顔料、金属粉、柿渋・紙(パネルに貼付)	42006620
16-A-175	菅井 汲	木星への道	1966	146.0×114.2	油彩・画布	42006627

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
16-A-176	田中阿喜良	母子	不詳	74.9×60.4	油彩・画布	42006639
16-A-177	田中阿喜良	イビザの女	不詳	45.3×38.0	油彩・画布	42006640
16-A-178	田中阿喜良	タバコ	不詳	45.8×38.0	油彩・画布	42006641
16-A-179	田中阿喜良	ブルターニュの漁夫	不詳	80.2×65.5	油彩・画布	42006642
16-A-180	藤崎孝敏	アンダルシアの女	2003	55.0×38.1	油彩・画布	42006646
16-A-181	藤崎孝敏	老いた詩人	2004	72.6×49.9	油彩・画布	42006647
16-A-182	藤崎孝敏	抜かれた根のある卓上	2005	59.9×120.0	油彩・画布	42006648
16-A-183	藤崎孝敏	セルヴィルの農婦	2005	60.5×60.5	油彩・画布	42006649
16-A-184	藤崎孝敏	ノルウェーの海	2005	50.0×72.8	油彩・画布	42006650
16-A-185	舟山一男	想うとき、想うこと	1987	91.0×72.8	油彩・画布	42006651
16-A-186	舟山一男	想う	1989	45.5×38.1	油彩・画布	42006652
16-A-187	舟山一男	踊り子	2003	72.6×60.6	油彩・画布	42006653
16-A-188	舟山一男	喝采	2003	72.6×60.7	油彩、コラージュ・画布	42006654
16-A-189	舟山一男	盲目の御前(ごぜ)	2004	116.8×91.0	油彩・画布	42006655
16-A-190	舟山一男	肖像	2004	116.5×91.0	油彩・画布	42006656
16-A-191	舟山一男	幕ひらく	2004	116.5×80.4	油彩・画布	42006657
16-A-192	舟山一男	幕間(まくあい)	2006	130.0×161.7	油彩・画布	42006658
16-A-193	吉田 博	水上温泉	1920年代後半～30年代	45.5×60.7	油彩・画布	42006659
16-A-194	クロード・ワイズバッシュ	自画像	1988	91.8×73.0	油彩・画布	42006668
16-A-195	クロード・ワイズバッシュ	昂まる旋律	1990	195.5×195.5	油彩・画布	42006669
16-A-196	クロード・ワイズバッシュ	美しきアルルカン	1995	145.6×113.7	油彩・画布	42006670
16-A-197	クロード・ワイズバッシュ	舞台にて	1998	114.1×146.0	油彩・画布	42006671
16-A-198	クロード・ワイズバッシュ	タンゴ	2006	88.7×115.8	油彩・画布	42006672
16-A-199	クロード・ワイズバッシュ	ポートレート	1988頃	150.0×149.7	油彩・画布	42006673
16-A-200	クロード・ワイズバッシュ	略奪	1986	146.1×114.2	油彩・画布	42006674
16-A-201	クロード・ワイズバッシュ	崇拝者たち	1970年代	211.0×307.5	油彩・画布	42006675

西本コレクション　素描

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
16-D-21	木下 晋	小杉ハツ像	1985	102.1×73.1	鉛筆・紙	42006576
16-D-22	木下 晋	女	1987	76.8×106.6	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006577
16-D-23	木下 晋	O氏の像	1987	80.6×122.8	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006578
16-D-24	木下 晋	シロ	1993	72.7×103.5	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006579
16-D-25	木下 晋	女II	1993	72.9×103.1	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006580
16-D-26	木下 晋	盲目のニューヨーカーII	1994	99.8×189.5	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006581
16-D-27	木下 晋	職人A	1994	164.2×99.8	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006582
16-D-28	木下 晋	祖母	1995	75.7×105.7	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006583
16-D-29	木下 晋	盲人の一人語り	1996	188.8×96.0	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006584
16-D-30	木下 晋	盲人の一人語りII	1996	189.8×97.5	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006585
16-D-31	木下 晋	無心	1997	92.8×48.0	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006586
16-D-32	木下 晋	棄民II	1998	189.0×100.2	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006587
16-D-33	木下 晋	静かな慟哭	2001	73.1×103.3	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006588
16-D-34	木下 晋	102年の闘争	2002	101.5×101.5	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006589
16-D-35	木下 晋	懊悩	2003	23.6×34.6	鉛筆・紙	42006590
16-D-36	木下 晋	憧憬	2005	189.8×99.8	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006591
16-D-37	木下 晋	105年の想い(モデル 小林ハル)	2005	189.0×99.0	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006592
16-D-38	木下 晋	105年の孤独	2005	208.5×109.9	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006593

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
16-D-39	木下 晋	在りし日の想い	2006	78.8×113.6	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006594
16-D-40	木下 晋	祈りの灯(モデル 桜井哲夫)	2006	101.8×66.2	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006595
16-D-41	木下 晋	自画像	2006	125.8×105.1	鉛筆・紙(パネルに貼付)	42006596

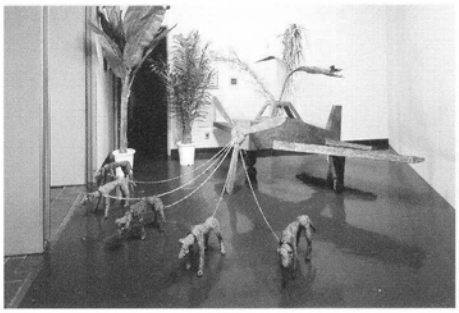
西本コレクション　版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
16-E-1383	畦地梅太郎	裏石鎚山	1940	29.9×41.5	木版・紙	42006546
16-E-1384	畦地梅太郎	平前の谷	1952	29.5×40.1	木版・紙	42006547
16-E-1385	畦地梅太郎	めぐりあい	1956	58.5×40.9	木版・紙	42006548
16-E-1386	畦地梅太郎	雪渓に立つ	1956	55.9×36.2	木版・紙	42006549
16-E-1387	畦地梅太郎	ねぶか平	1957	40.8×30.1	木版・紙	42006550
16-E-1388	畦地梅太郎	鳥と山男	1957	55.4×36.3	木版・紙	42006551
16-E-1389	畦地梅太郎	ふりかえる男	1957	61.0×43.3	木版・紙	42006552
16-E-1390	畦地梅太郎	助かった鳥	1957	60.8×43.4	木版・紙	42006553
16-E-1391	畦地梅太郎	白い像	不詳	39.2×25.7	木版・紙	42006554
16-E-1392	畦地梅太郎	白い像	1958	69.3×45.5	木版・紙	42006555
16-E-1393	畦地梅太郎	山男	1964	30.7×25.3	木版・紙	42006556
16-E-1394	畦地梅太郎	山の家族	1973	45.0×32.7	木版・紙	42006557
16-E-1395	畦地梅太郎	山の家族	1975	39.4×28.5	木版・紙	42006558
16-E-1396	畦地梅太郎	親子の水	1975	39.4×29.0	木版・紙	42006559
16-E-1397	畦地梅太郎	鳥のこえ	1980	39.2×28.9	木版・紙	42006560
16-E-1398	畦地梅太郎	山小屋の冬	1980	39.0×28.9	木版・紙	42006561
16-E-1399	畦地梅太郎	水	1980	38.5×29.0	木版・紙	42006562
16-E-1400	畦地梅太郎	山湖のほとり	1983	29.0×39.3	木版・紙	42006563
16-E-1401	畦地梅太郎	窺う	1983	29.0×39.5	木版・紙	42006564
16-E-1402	岩谷 徹	被爆の聖母子	2006	71.4×47.2	メゾチント・紙	42006568
16-E-1403	小野忠重	とりの道	1959	30.1×45.7	木版・紙	42006572
16-E-1404	小野忠重	おつかい	1965	44.8×24.3	木版・紙	42006573
16-E-1405	加藤清美	木の杯	1996	43.4×39.9	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	42006569
16-E-1406	加藤清美	初見の人	2002	41.0×35.0	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	42006570
16-E-1407	加藤清美	Romance II	2002	44.2×39.5	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	42006571
16-E-1408	清塚紀子	A Waking Dream	1970	53.7×45.6	エッチング、アクアチント・紙	42006597
16-E-1409	清塚紀子	ボクの影	1974	36.4×52.4	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	42006598
16-E-1410	清塚紀子	退屈な会話	1975	55.5×45.3	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント、ドライポイント・紙	42006599
16-E-1411	清塚紀子	8月6日の大雨の日に	1975	45.1×36.5	エッチング、アクアチント、ドライポイント、サンドペーパー・エッチング・紙	42006600
16-E-1412	清塚紀子	私の記憶	1976	41.2×42.7	エッチング、アクアチント、鉛箔・紙	42006601
16-E-1413	清塚紀子	D氏の旅行記	1976	50.0×45.0	エッチング、アクアチント、鉛箔・紙	42006602
16-E-1414	清塚紀子	イメージの連想作用3−77	1977	46.1×45.1	エッチング、鉛箔・紙	42006603
16-E-1415	清塚紀子	夢の中の光景 1979-B	1979	44.0×57.8	エッチング、アクアチント・紙	42006604
16-E-1416	清塚紀子	旅行記 B1-29	1980	59.7×41.4	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント・紙	42006605

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
16-E-1417	清塚紀子	海の記憶 A-82	1982	44.4×59.4	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント・紙	42006606
16-E-1418	清塚紀子	海の記憶A-1984	1984	69.9×50.2	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント、鉛箔・紙	42006607
16-E-1419	清塚紀子	海へ—航跡 1986-F	1986	75.0×49.5	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント、コンデンサー、はんだ、鉛箔・紙	42006608
16-E-1420	清塚紀子	空路1987-B	1987	95.2×61.5	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント、コンデンサー、チューブ、はんだ、鉛箔・紙	42006609
16-E-1421	清塚紀子	海図-A	1988	61.2×45.1	エッチング、ソフトグランド・エッチング、シュガー・アクアチント、コンデンサー、チューブ、はんだ、鉛箔・紙	42006610
16-E-1422	清塚紀子	空路1988-B	1988	90.1×60.1	エッチング、アクアチント、シュガー・アクアチント、チューブ、はんだ、鉛箔・紙	42006611
16-E-1423	清塚紀子	厚い壁2003- 3	2003	60.4×45.8	銅版、鉛箔、電気部品・紙(板に貼付)	42006612
16-E-1424	清塚紀子	西へ2002～2005	2005	58.9×85.2	銅版、鉛箔、金属、はんだ・紙(板に貼付)	42006613
16-E-1425	黒崎 彰	糸の詩 1	1991	61.0×92.7	手漉き紙、絹糸、柿渋、染料、アクリル、シンコレ・紙	42006614
16-E-1426	黒崎 彰	黒い髪	1993	59.8×89.5	木版・紙(台紙に貼付)	42006615
16-E-1427	斎藤 清	北海道(A)	1961	39.0×52.6	木版・紙	42006621
16-E-1428	斎藤 清	会津の冬(9)	1970	37.9×52.5	木版・紙	42006622
16-E-1429	斎藤 清	大徳寺、京都	1971	30.0×39.1	木版・紙	42006623
16-E-1430	斎藤 清	ノートルダム、パリ	1974	42.1×29.5	木版、エンボス・紙	42006624
16-E-1431	斎藤 清	柿の会津(20)	1976	37.8×52.3	木版・紙	42006625
16-E-1432	斎藤 清	柿の会津(28)	1983	38.1×53.0	木版・紙	42006626
16-E-1433	菅井 汲	サムライ	1958	54.5×46.1	リトグラフ・紙	42006628
16-E-1434	菅井 汲	青空	1963	58.0×45.4	リトグラフ・紙	42006629
16-E-1435	菅井 汲	緑の風	1964	64.6×45.0	リトグラフ・紙	42006630
16-E-1436	菅井 汲	フォンテンブローのオートルート	1964	69.6×54.5	リトグラフ・紙	42006631
16-E-1437	菅井 汲	青い太陽	1965	74.1×53.3	リトグラフ・紙	42006632
16-E-1438	菅井 汲	日蝕	1965	66.5×53.5	リトグラフ・紙	42006633
16-E-1439	菅井 汲	月への道	1966	68.5×50.0	リトグラフ・紙	42006634
16-E-1440	菅井 汲	緑のフェスティヴァル	1966	71.8×52.2	リトグラフ・紙	42006635
16-E-1441	菅井 汲	球	1970	71.1×44.8	リトグラフ・紙	42006636
16-E-1442	菅井 汲	愛人E	1988	74.7×41.0	リトグラフ・紙	42006637
16-E-1443	菅井 汲	S青	1992	112.4×79.3	リトグラフ・紙	42006638
16-E-1444	深沢幸雄	ダンテ「神曲」地獄篇より ジャンニ・スキッツ	1957	36.3×29.2	エッチング、アクアチント、タガネ、ルーレット、ディープ・エッチング・紙	42006643
16-E-1445	深沢幸雄	想念と渦	2007	59.6×36.0	メゾチント、アクアチント、ルーレット・紙	42006644
16-E-1446	深沢幸雄	不死鳥は舞う	2007	59.5×36.0	メゾチント、アクアチント、ルーレット・紙	42006645
16-E-1447	ホルスト・アンテス	母と子	1974	79.0×64.6	リトグラフ・紙	42006660
16-E-1448	ベルナール・ビュッフェ	白い道化師(「私のサーカス」より)	1968	68.0×47.4	リトグラフ・紙	42006661
16-E-1449	サム・フランシス	(題不詳)	不詳	75.9×55.8	リトグラフ・紙	42006662
16-E-1450	アントニ・タピエス	A.M.	1982	39.6×58.0	リトグラフ・紙	42006667
16-E-1451	ケーテ・コルヴィッツ	女と死んだ子ども	1903	42.3×48.3	エッチング、ソフトグランド・エッチング、ドライポイント、サンドペーパー・紙	42006663
16-E-1452	ケーテ・コルヴィッツ	額に手を置く自画像	1910(1914/15)	15.4×13.9	エッチング、ドライポイント・紙	42006664
16-E-1453	ケーテ・コルヴィッツ	犠牲(連作『戦争』第1葉)	1922	37.1×39.9	木版・紙	42006665
16-E-1454	ケーテ・コルヴィッツ	民衆(連作『戦争』第7葉)	1922	35.9×30.0	木版・紙	42006666

西本コレクション　彫刻等

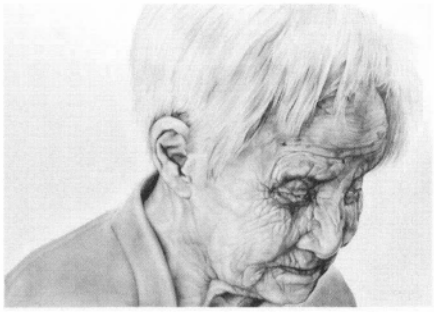
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
16-G-11	伊津野雄二	大地	2003	183.0×130.0×38.0	木彫(楠)	42006565
16-G-12	伊津野雄二	開扉(Kaihi)	2003	181.0×66.0×46.0	木彫(楠)	42006566
16-G-13	伊津野雄二	いただきでおどる	2005	194.0×117.0×52.0	木彫(松、古材)	42006567



▲藤浩志《P.N.G.》1988－2003年



▲冨田溪仙《神庫(試作)》1926年



▲木下 晋《在りし日の想い》2006年

■古美術

寄　贈

一般古美術資料　彫刻等

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-G-1	石造仏立像	パキスタン	クシャーン時代	総高53.8　肘張21.5	片岩	42006173
14-G-2	石造菩薩像頭部	パキスタン	クシャーン時代	高さ28.0　最大幅20.5	片岩	42006278
14-G-3	石造菩薩胸像	パキスタン	ガンダーラ様式	高さ25.0　最大幅18.5	緑色片岩	42006279
14-G-4	石造ヒンドゥー神立像	インド	後グプタ時代	総高43.0　総幅22.5　総奥12.5	花崗岩	42006280
14-G-5	石造浮彫基壇部分	インド	パーラ時代	高さ37.0　幅42.5	片岩	42006281
14-G-6	石造浮彫基壇部分	インド	パーラ時代	高さ30.4　幅25.3	片岩	42006282

一般古美術資料　陶磁器

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-Ha-164	絵唐津茶碗	唐津	江戸時代	高さ9.0　口径13.4　高台径5.9	陶器	42006343
14-Ha-165	瀬戸肩衝茶入	瀬戸	江戸時代	高さ8.2　口径3.7　胴径6.2　底径4.0	陶器	42006344
14-Ha-166	色絵寿字文鉢	有田	江戸時代	高さ6.2　口径22.3　高台径12.2	磁器	42006345
14-Ha-167	色絵格子文長皿(10枚)	有田	江戸時代	長さ21.1　高さ3.4　高台径15.6	磁器	42006346
14-Ha-168	色絵羊歯譲葉文皿(三寸皿)(5枚)	鍋島	近代	高さ3.9　口径11.7　高台径6.3	磁器	42006347
14-Ha-169	色絵花卉文輪花鉢		近代	高さ9.1　口径21.0　高台径8.5	磁器	42006348
14-Ha-170	色絵金襴手花卉文小碗	九谷	幕末明治	高さ4.5　口径7.8　高台径3.3	磁器	42006349
14-Ha-171	色絵花鳥文輪花皿	九谷	幕末明治	高さ2.0　口径24.8　高台径14.8	磁器	42006350
14-Ha-172	青磁白堆牡丹文瓢形水注	朝鮮・康津郡	高麗時代	高さ25.9　胴径14.6　高台径10.2	磁器	42006351
14-Ha-173	飛青磁下蕪形花入	中国	南宋時代	高さ24.2　胴径15.2　高台径10.2	磁器	42006352
14-Ha-174	青磁蓮弁文深鉢	中国 龍泉窯	宋～元時代	高さ10.9 口径16.4 胴径17.9 高台径12.1	磁器	42006353
14-Ha-175	青磁蓮弁文鉢	中国 龍泉窯	宋～元時代	高さ6.6 口径13.5 胴径14.8 高台径4.0	磁器	42006355
14-Ha-176	青磁蓮弁文碗	中国 龍泉窯	元～明時代	高さ7.6　口径12.0　高台径4.7	磁器	42006356
14-Ha-177	青磁三足香炉	中国 龍泉窯	明時代	高さ8.3　口径8.5	磁器	42006354
14-Ha-178	青磁寿老人角香炉	中国 龍泉窯	明時代	高さ4.2　総高10.5　最大径7.5	磁器	42006357
14-Ha-179	瑠璃釉碗「大清乾隆年製」銘「光緒」	中国 景徳鎮窯	清時代	高さ8.0　口径16.9　高台径6.5	磁器	42006358
14-Ha-180	色絵金襴手花鳥文小皿	中国 景徳鎮民窯	明時代	高さ2.0　口径13.6　高台径7.8	磁器	42006359
14-Ha-181	法花尊形花入	中国	清時代	高さ29.2　口径11.4　底径9.4	磁器	42006360

川村コレクション　彫刻等

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量(cm)	品質	備品受入番号
21-G-1	「釈迦誕生」	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦6.6(現状)　横9.9(現状)　厚さ1.2	塼仏	42006283
21-G-2	仏説法	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦6.1　横3.9　厚さ1.0	塼仏	42006284
21-G-3	仏説法	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦7.6　横5.6　厚さ2.0	塼仏	42006285
21-G-4	仏説法	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦13.5　横9.1　厚さ1.5	塼仏	42006286
21-G-5	仏説法	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦12.7　横9.6　厚さ1.5	塼仏	42006287
21-G-6	「舎衛城の神変(千仏化現)」	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦5.7　横3.3	塼仏	42006288
21-G-7	仏三尊像	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦5.0　横3.8	塼仏	42006289
21-G-8	仏三尊像	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦6.2　横4.9　厚さ0.9	塼仏	42006290
21-G-9	「舎衛城の神変(マンゴー樹の神変)」	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦13.5　横8.1　厚さ2.0	塼仏	42006291
21-G-10	「舎衛城の神変(マンゴー樹の神変)」	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦13.0　横5.8　厚さ1.6	塼仏	42006292
21-G-11	ナーガの上の仏陀坐像	タイ	ドヴァーラヴァティー時代	縦10.9　横6.7　厚さ1.9	塼仏	42006293
21-G-12	仏説法	タイ	シュリーヴィジャヤ時代	縦7.5　横5.2　厚さ1.2	塼仏	42006294
21-G-13	仏三尊像	タイ	シュリーヴィジャヤ時代	縦8.7　横7.0　厚さ1.6	塼仏	42006295
21-G-14	菩薩立像	タイ	シュリーヴィジャヤ時代	縦8.0　横4.4　厚さ1.0	塼仏	42006296
21-G-15	観音菩薩坐像	タイ	シュリーヴィジャヤ時代	縦5.5　横5.3　厚さ1.5	塼仏	42006297
21-G-16	千体仏断片	タイ	クメール時代(ロッブリー様式)	縦9.0(現状)　横10.8(現状)　厚さ2.0	塼仏	42006298
21-G-17	千体仏(30躯の仏陀坐像)	タイ	クメール時代(ロッブリー様式)	縦13.2　横9.3　厚さ0.7	塼仏	42006299
21-G-18	千体仏	タイ	クメール時代(ロッブリー様式)	縦12.7	樹脂製	42006300
21-G-19	触地印仏陀坐像	タイ	クメール時代(ロッブリー様式)	縦11.9　横6.5　厚さ1.5	塼仏	42006301
21-G-20	仏三尊像	タイ	クメール時代(ロッブリー様式)	縦7.5(現状)　横7.0　厚さ0.7	塼仏	42006302
21-G-21	仏三尊像型	タイ	クメール時代(ロッブリー様式)	縦6.2　横4.2　厚さ1.5	塼仏	42006303
21-G-22	千体仏(55躯の仏陀坐像)	タイ	スコータイ時代	縦14.5　横10.8　厚さ1.0	塼仏	42006304
21-G-23	千体仏型(55躯の仏陀坐像)	タイ	スコータイ時代	縦12.7　横9.3　厚さ1.0	塼仏	42006305
21-G-24	千体仏型(55躯の仏陀坐像)	タイ	スコータイ時代	縦13.0　横9.9　厚さ1.6	塼仏	42006306
21-G-25	千体仏型(55躯の仏陀坐像)断片	タイ	スコータイ時代	縦10.2(現状)　横9.5　厚さ1.4	塼仏	42006307
21-G-26	千体仏(42躯の仏陀坐像)	タイ	スコータイ時代	径9.0　厚さ2.0	塼仏	42006308
21-G-27	青銅製千体仏(250躯の仏陀坐像)	タイ	スコータイ時代	縦19.2　横11.7　厚さ4.0	青銅製	42006309
21-G-28	千体仏(81躯の仏陀坐像)	タイ	スコータイ時代	縦9.8　横5.5　厚さ1.3	塼仏	42006310
21-G-29	千体仏断片	タイ	スコータイ時代	縦12.7(現状)　横11.1　厚さ1.1	塼仏	42006311
21-G-30	千体仏断片　3点	タイ	スコータイ時代	縦7.6～10.5	塼仏	42006312
21-G-31	仏坐像型断片	タイ	スコータイ時代	縦9.1(現状)　横6.4　厚さ1.1	塼仏型(石製)	42006313
21-G-32	千体仏断片	タイ	スコータイ時代	縦6.7　最大厚さ1.2	塼仏	42006314
21-G-33	9躯の仏陀坐像	タイ	アユタヤ時代	径6.9　厚さ1.2	塼仏	42006315
21-G-34	10躯の仏陀坐像	タイ	アユタヤ時代	縦10.8　横6.8　厚さ1.2	塼仏	42006316
21-G-35	触地印仏陀坐像	タイ	アユタヤ時代	縦13.5　横8.3　厚さ1.4	塼仏	42006317
21-G-36	触地印仏陀坐像	タイ	アユタヤ時代	縦12.0　横7.3　厚さ5.9	塼仏	42006318
21-G-37	触地印仏陀坐像	タイ	アユタヤ時代	縦7.5　横5.0　厚さ1.5	塼仏	42006319
21-G-38	仏陀涅槃像	タイ	アユタヤ時代	縦6.0　横7.6　厚さ1.3	塼仏(鍍金)	42006320
21-G-39	仏陀坐像	タイ	アユタヤ時代	縦14.5　横6.6　厚さ2.3	塼仏(鍍金)	42006321
21-G-40	蓮華化生像瓦当	タイ	アユタヤ時代	縦13.5(現状)　横12.5　厚さ4.0(現状)	塼仏	42006322
21-G-41	蓮華化生像瓦当	タイ	アユタヤ時代	縦15.1(現状)　横14.4　厚さ5.2(現状)	塼仏	42006323
21-G-42	仏陀坐像　5躯	タイ	アユタヤ時代	縦7.3～9.8　横3.7～4.8	塼仏(銀板貼付/鍍金)	42006324
21-G-43	仏陀立像	タイ	アユタヤ時代	縦11.4　横7.4　厚さ1.8	塼仏	42006325
21-G-44	仏陀坐像(銀押出)	タイ	アユタヤ時代	縦8.0　横3.5	押出仏	42006326
21-G-45	仏陀坐像(銀押出)	タイ	アユタヤ時代	縦8.1　横3.1	押出仏	42006327
21-G-46	仏陀坐像(金押出)	タイ	アユタヤ時代(ウートーン様式)	縦8.3　横5.0	押出仏	42006328
21-G-47	金銅仏陀立像	タイ	アユタヤ時代	縦16.5	金銅仏	42006329

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量(cm)	品質	備品受入番号
21-G-48	触地印仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦11.2　横6.2　厚さ2.0	塼仏	42006330
21-G-49	触地印仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦13.0　横7.0　厚さ2.0	塼仏	42006331
21-G-50	触地印仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦10.0　横5.7　厚さ1.5	塼仏	42006332
21-G-51	触地印仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦9.9　横7.1　厚さ2.0	塼仏	42006333
21-G-52	10躯の仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦9.9　横7.1　厚さ2.0	塼仏	42006334
21-G-53	10躯の仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦11.5　横7.5　厚さ2.0	塼仏	42006335
21-G-54	10躯の仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦9.6(現状)　横7.7　厚さ2.2	塼仏	42006336
21-G-55	10躯の仏陀坐像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦11.8　横8.2　厚さ2.5	塼仏	42006337
21-G-56	10躯の仏陀坐像断片	タイ	ハリプンチャイ時代	縦7.3(現状)　横7.7　厚さ1.8	塼仏型(青銅製)	42006338
21-G-57	青銅製仏三尊像型	タイ	ハリプンチャイ時代	縦9.4　横6.9　厚さ0.3　奥行き1.8(現状)	塼仏型(青銅製)	42006339
21-G-58	青銅製仏三尊像型	タイ	ハリプンチャイ時代	縦7.8　横6.2　厚さ0.4　奥行き3.0	塼仏型(青銅製)	42006340
21-G-59	青銅製仏三尊像型	タイ	ハリプンチャイ時代	縦8.9　横6.8　厚さ0.6　奥行き3.3	塼仏型(青銅製)	42006341
21-G-60	仏陀立像	タイ	ハリプンチャイ時代	縦44.0	陶仏	42006342



▲石像菩薩像頭部　パキスタン
クシャーン時代



▲色絵寿字文鉢　有田　江戸時代



▲仏説法　タイ
ドヴァーラヴァティー時代

図書・映像資料

図書関係受入状況

		和書	洋書
購入	図書	58	36
	図録	8	7
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	96	10
	図録	484	18
	年報・紀要	249	0
	製本資料	0	0
	雑誌	404	115
合計		1,299	186
総計			1,485

単位(冊)

映像資料関係受入状況

購入	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	0
	DVD	0
	マイクロフィルム	0
寄贈	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	1
	DVD	8
	マイクロフィルム	0
合計		9

単位(点)

美術資料の修復・貸出

美術資料の修復

■近現代美術

種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
日本画	冨田溪仙	鶴	不詳	各125.0×43.7	絹本着色	二幅対	1-B-202
日本画	冨田溪仙	童子	明治後期	145.0×71.0	絹本着色	一幅	1-B-215

■古美術

種別	作品名	作品名	時代	法量(cm)	品質	数量	所蔵品番号
絵画	三十六歌仙画冊	岩佐又兵衛	江戸時代初期	縦21.0　横21.6(各図)	紙本着色	一冊	14-B-26

美術資料の貸出

■近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	田崎広助	朝焼けの大山	1-A-60	日展100年	国立新美術館	平成19年7月25日ー9月3日
版画	吉田 博	帆船 朝(瀬戸内海集)	1-E-64		宮城県美術館	平成19年9月23日ー11月4日
版画	吉田 博	帆船 午前(瀬戸内海集)	1-E-65		広島県立美術館	平成20年2月19日ー3月30日
版画	吉田 博	帆船 霧(瀬戸内海集)	1-E-67		富山県立近代美術館	平成20年4月12日ー5月18日
版画	吉田 博	帆船 夜(瀬戸内海集)	1-E-69			
彫刻等	冨永朝堂	五比賣命	1-G-11			
日本画等	小山 硬	洗礼	1-B-62	悠久のロマン　小山硬	名都美術館	平成20年3月11日ー5月6日
油彩等	レオナール・フジタ	仰臥婦人	3-A-6	没後40年	北海道立近代美術館	平成20年7月12日ー9月4日
素描	レオナール・フジタ	腕をのばした大きな裸婦	3-D-1	レオナール・フジタ展	宇都宮美術館	平成20年9月14日ー11月9日
					上野の森美術館	平成20年11月15日ー平成21年1月18日
					福岡市美術館	平成21年2月22日ー4月19日
					せんだいメディアテーク	平成21年4月26日ー6月7日
彫刻等	朝倉文夫	墓守	1-G-1	日本彫刻の近代	鹿児島市立美術館	平成20年7月18日ー8月31日
					呉市立美術館	平成20年9月13日ー10月19日
					横須賀美術館	平成20年10月28日ー12月21日
油彩等	小林和作	海	1-A-183	生誕120年 小林和作『天地豊麗』展	尾道市立美術館	平成20年8月1日ー9月28日
油彩等	坂本繁二郎	大島の一部	1-A-43	明治の洋画ー解読から鑑賞へ	茨城県近代美術館	平成20年8月2日ー9月23日
油彩等	青木 繁	秋声	1-A-288			
油彩等	山口 薫	丸い沼と春の雪	2-A-47	山口 薫展	群馬県立近代美術館	平成20年9月6日ー10月28日
					世田谷美術館	平成20年11月3日ー12月23日
					三重県立美術館	平成21年1月4日ー2月22日
油彩等	佐伯祐三	街	2-A-29	没後80年記念 佐伯祐三展 ーパリで夭逝した天才画家の 道ー	大阪市立美術館	平成20年9月9日ー10月19日
					高松市美術館	平成20年10月24日ー12月7日
					北海道立近代美術館	平成21年4月24日ー6月14日
					新潟県立万代島美術館	平成21年7月4日ー8月30日
					(大阪、高松、北海道会場のみ貸出)	
油彩等	シグマール・ポルケ	Nissi Has Company II	3-A-414	Art of our time	上野の森美術館	平成20年9月27日ー11月9日
日本画等	冨田溪仙	沖縄三題 (四幅対の内三幅)	1-B-65	沖縄・プリズム 1872▶2008	東京国立近代美術館	平成20年10月31日ー12月21日
日本画等	冨田溪仙	沖縄三題 (四幅対の内一幅)	1-B-158			

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩等	須田国太郎	水浴	2-A-32	セザンヌ主義	横浜美術館	平成20年11月15日ー平成21年1月25日
				父と呼ばれる画家への礼讃	北海道立近代美術館	平成21年2月7日ー4月12日
油彩等	舟木富治	ピンク・ポップ・ノミ(B)	1-A-505	舟木富治展　内なるまなざし	北九州市立美術館	平成20年11月15日ー12月7日
油彩等	舟木富治	真夏の世の夢(B)	1-A-506			
油彩等	寺田政明	昆蟲＜化石＞	1-A-114	20世紀検証シリーズno.1	板橋区立美術館	平成20年11月22日ー平成21年1月12日
油彩等	松本俊介	彫刻と女	2-A-39	新人画会展		
				戦時下の画家たち		
				ー絵があるから生きているー		
油彩等	黒田清輝	婦人像	1-A-37	アジアとヨーロッパの肖像	国立民族学博物館	平成20年9月11日ー11月25日
	(福岡アジア美術館、神奈川県立近代美術館のみ貸出)				国立国際美術館	平成20年9月30日ー11月24日
					福岡アジア美術館	平成20年12月6日ー平成21年1月25日
					神奈川県立近代美術館	平成21年2月7日ー3月29日
					神奈川県立歴史博物館	平成21年2月7日ー3月29日
					(福岡アジア美術館、神奈川県立近代美術館のみ貸出)	
日本画等	相嶋崇人	有明海	1-B-1	郷土作家シリーズNO.16	熊本県立美術館	平成21年1月6日ー2月22日
				「描くー静かなる闘いー」		
油彩等	鳥海青児	石を運ぶ	2-A-33	没後35年　香月泰生と	下関市立美術館	平成21年2月5日ー3月22日
油彩等	脇田 和	魚網	2-A-53	1940-50年代の絵画		

■古美術

種別	作品名	作家名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画　重文	花籠図(4週間のみ展示)	尾形乾山	6-B-36	乾山の芸術と光琳	出光美術館	平成19年11月3日ー12月16日
絵画	茄子図	尾形乾山	6-B-37		MOA美術館	平成20年1月18日ー2月26日
絵画	柳図	尾形乾山	6-B-38		京都文化博物館	平成20年3月8日ー4月13日
書跡　重文	源氏物語系図	伝・九条良経	4-I-1	源氏物語千年紀展	京都文化博物館	平成20年4月26日ー6月8日
絵画	源氏物語図屏風	土佐光起	11-B-10	～恋、千年の時空をこえて～		
染織	黄地ムルドゥッチリ衣裳	琉球(久米島)	14-Hd-9	アートに出会う夏vol.10	福岡県立美術館	平成20年7月19日ー8月27日
染織	茶地ティジマ衣裳	琉球	14-Hd-11	「ぼくの久留米絣ものがたり		
				ー郷土の美術をみる・しる・まなぶー」		
陶磁器 重文	色絵吉野山図茶壺	野々村仁清	6-Ha-50	創刊記念『國華』百二十周年・	東京国立博物館	平成20年7月8日ー8月17日
陶磁器	槍梅香合	尾形乾山	6-Ha-86	朝日新聞百三十周年特別展		
				「対決ー巨匠たちの日本美術」		
絵画	万国人物図	不詳	7-B-137	アジアとヨーロッパの肖像	国立民族学博物館	平成20年9月11日ー11月25日
					国立国際美術館	平成20年9月30日ー11月24日
					福岡アジア美術館	平成20年12月6日ー平成21年1月25日
					神奈川県立近代美術館	平成21年2月7日ー3月29日
					神奈川県立歴史博物館	平成21年2月7日ー3月29日
					(国立国際美術館、神奈川県立近代美術館のみ貸出)	
漆工	梨子地三葉葵紋載金鞍・鐙		4-Hb-164	黒田長政と二十四騎	福岡市博物館	平成20年9月12日ー11月3日
その他	梵字采配		4-Hf-169	ー黒田武士の世界		
その他	北条白貝		4-Hf-172			
絵画　重美	韋駄天・猿猴図	伝・牧谿	6-B-9	室町将軍家の至宝を探る	徳川美術館	平成20年10月4日ー11月9日
絵画	山水図	伝・芸阿弥	6-B-26			
絵画	山水行旅図	不詳	14-B-22	崇高なる山水ー中国・朝鮮、	大和文華館	平成20年10月11日ー11月16日
				李郭系山水画の系譜ー		

種別		作品名	作家名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
染織		インド更紗 クリシュナ図	インド産	14-Hd-13	古渡り更紗	五島美術館	平成20年10月25日ー11月30日
染織		経緯絣文更紗	インド産	14-Hd-225	ー江戸を染めたインドの華		
染織		幾何学文様経緯絣更紗	インド産	14-Hd-288			
絵画		葡萄図屏風	崔奭煥	14-B-14	朝鮮王朝の絵画と日本	栃木県立美術館	平成20年11月2日ー12月14日
絵画		花鳥図	伝・申思任堂	14-B-15	ー宗達、大雅、若冲も学んだ	静岡県立美術館	平成21年2月17日ー3月29日
					隣国の美ー	仙台市博物館	平成21年4月17日ー5月24日
						岡山県立美術館	平成21年6月5日ー7月12日
絵画		芦葉達磨図(大・福)	伝・因陀羅	6-B-7	未来をひらく　福澤諭吉展	東京国立博物館	平成21年1月10日ー3月8日
絵画	重美	韋駄天・猿猴図	伝・牧谿	6-B-9		福岡市美術館	平成21年5月2日ー6月14日
絵画	重文	地獄草紙断簡・勘当の鬼	不詳	6-B-12		大阪市立美術館	平成21年8月4日ー9月6日
絵画	重文	布袋図(東)	足利義持	6-B-20			
絵画	重文	花籠図(東)	尾形乾山	6-B-36			
彫刻	重文	弥勒菩薩半跏像(東)	不詳	6-G-1			
彫刻		如来形立像		6-G-19			
陶磁器	重文	色絵吉野山図茶壺	野々村仁清	6-Ha-50			
陶磁器		唐物肩衝茶入 銘「松永」(東)		6-Ha-51			
陶磁器		高麗割高台茶碗 銘「下葉」		6-Ha-59			
陶磁器		黒楽茶碗 銘「次郎坊」(東)	長次郎	6-Ha-62			
陶磁器		志野筒茶碗 銘「露香」(大・福)		6-Ha-65			
陶磁器		雨漏堅手茶碗　銘「天野屋」		6-Ha-70			
陶磁器		黒楽茶碗　銘「小太郎ケ淵」		6-Ha-72			
陶磁器		影青刻花文鉢		6-Ha-137			
陶磁器	重文	五彩魚藻文壷(大・福)		6-Ha-139			
漆工	重文	黒漆平文唐櫛笥 台共(東・大)		6-Hb-1			
金工		王字形水瓶		6-Hc-6			
金工		火舎香炉		6-Hc-8			
金工	重美	扇面散文鏡		6-Hc-15			
金工		芦屋浜松舟地文釜		6-Hc-102			
その他		茶杓 銘「岩戸」共筒(大・福)		6-Hf-82			
書跡	重文	金剛般若経開題残巻(東)	空海	6-I-1			
書跡		一休宗純墨蹟(七言絶句)	一休宗純	6-I-10			
書跡	重文	月江正印墨蹟(七言絶句)	月江正印	6-I-5			
書跡	重美	夢記切(大・福)	明恵	6-I-15			
書跡		千利休消息　あぜち宛	千利休	6-I-18			

(東)＝東京会場のみ出品
(大・福)＝大阪、福岡会場のみ出品
(東・大)＝東京、大阪会場のみ出品

展示室

平成20年

▶第39回 日展
3月29日(土)ー4月20日(日)
特別展示室A・B・市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般1,100円、高・大生700円、小・中生400円
日数＝20日／観覧者数＝24,319人
日本を代表する総合美術展。日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門。全国巡回および九州・山口・沖縄の地元入選作品あわせて517点を展示。

▶シボリコミュニティ福岡 第8回作品展
4月22日(火)ー4月27日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝720人
染色、藍染としぼりの作品約25点を展示。

▶写真展「ふる里」
4月22日(火)ー4月27日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,109人
「里の風景」写真40点を展示。

▶グループ季楽水彩画展
4月22日(火)ー4月27日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,256人
水彩による静物画と風景画82点を展示。

▶第17回 日本原色押花文化協会展　花〜色の世界〜
4月22日(火)ー4月27日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝999人
四季折々の草花を押し花にし、額装、屏風に仕上げた作品約100点を展示。

▶九州藍筍会展
4月22日(火)ー4月27日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,074人
かな書道研究会の作品展。屏風、小品68点を展示。

▶わだち展
4月29日(火・祝)ー5月6日(火・休)
特別展示室B
日数＝8日／観覧者数＝1,337人
油絵、アクリル画、水彩画等37点を展示。

▶甲斐順一写真展「雲の情景」
4月29日(火・祝)ー5月6日(火・休)
市民ギャラリーA
日数＝8日／観覧者数＝1,639人
福岡の様々な情景をおりまぜた雲の写真35点を展示。

▶尾崎聡彦展
4月29日(火・祝)ー5月6日(火・休)
市民ギャラリーB
日数＝8日／観覧者数＝1,279人
水彩画30点を展示。

▶玄海アート展 vol.28
4月29日(火・祝)ー5月6日(火・休)
市民ギャラリーC
日数＝8日／観覧者数＝1,123人
陶芸、木工、詩画と書あわせて130点を展示。

▶松田芙未子アート表装　福岡県受講生作品展
4月29日(火・祝)ー5月6日(火・休)
市民ギャラリーD
日数＝8日／観覧者数＝1,337人
着物や帯を屏風、掛軸、額装にして表現。約100点を展示。

▶第26回上野の森美術館大賞展　九州展
5月3日(土・祝)ー5月11日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般600円、高・大生400円、小・中生無料
日数＝8日／観覧者数＝1,459人
絵画作品76点を展示。

▶西日本書道学会展
5月8日(木)ー5月11日(日)
特別展示室B
日数＝4日／観覧者数＝921人
漢字、かな、調和体などの書作品を約70点展示。

▶MAIN展 Vol.9
5月8日(木)ー5月11日(日)
市民ギャラリーA
日数＝4日／観覧者数＝879人
ろう染画、アクリル画、色鉛筆画等63点を展示。

▶香瓔会かな博多グループ展
5月8日(木)ー5月11日(日)
市民ギャラリーB
日数＝4日／観覧者数＝569人
かな書の掛軸等の作品66点を展示。

▶「志学会」展
5月8日(木)ー5月11日(日)
市民ギャラリーC
日数＝4日／観覧者数＝781人
各文化サークル合同展。油彩、アクリル、水彩、色鉛筆、パステルなどの作品108点を展示。

▶キルトフォーラム"キルトの微風"
5月8日(木)ー5月11日(日)
市民ギャラリーD
日数＝4日／観覧者数＝881人
タペストリー29点、小物類10点を展示。

▶第75回記念　独立展
5月13日(火)ー5月18日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝1,599人
会員および受賞者と地元西日本の入選作品（油彩画）142点を展示。

▶第10回 彩展
5月13日(火)ー5月18日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝951人
油彩33点を展示。

▶早良区・西区公民館　水墨画サークル合同作品展
5月13日(火)ー5月18日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝981人
水墨画56点を展示。

▶第5回 聊心会書作展
5月13日(火)ー5月18日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,335人
額装、軸装、屏風等の書作品53点を展示。

▶第10回 博多会（南北墨画会）教室作品展
5月13日(火)ー5月18日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,115人
軸装、額装の書作品74点を展示。

▶第58回 モダンアート福岡展
5月20日(火)ー5月25日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般800円、高・大生500円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝1,427人
絵画、彫刻、版画、写真、デザインなど132点を展示。

▶奥川水毬パッチワーク教室作品展
5月20日(火)ー5月25日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,668人
タペストリー、パッチワーク作品あわせて150点を展示。

▶日本習字教育財団　瑞の会
5月20日(火)ー5月25日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,553人
軸装、額装の書作品約100点を展示。

▶慎思会書作展
5月20日(火)ー5月25日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝2,080人
漢字、調和体等の書作品102点を展示。

▶彫ウッド和田生徒作品展
5月20日(火)ー5月25日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝2,144人
時計、椅子、テーブル、レリーフ、置物等

▶第61回 示現会展
5月27日(火)ー6月1日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般700円、高・大生400円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝5,035人
油彩、水彩あわせて154点を展示。

▶玄展
5月27日(火)ー6月1日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,901人
洋画、日本画、彫刻あわせて34点を展示。

▶第5回 はじめての日本画
5月27日(火)ー6月1日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,619人
日本画35点を展示。

▶九友会絵画展
5月27日(火)ー6月1日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,424人
日本画、水彩画、版画、油彩画約80点を展示。

▶第13回 西日本地区合同展「花紀行」
5月27日(火)ー6月1日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,694人
額装、軸装、屏風等の押花作品約200点を展示。

▶朝陽会展
5月27日(火)ー6月1日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=910人
書作品50点を展示。

▶第24回 西部朝日書道展・第5回 九州・山口・沖縄代表書作家展
6月3日(火)ー6月8日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B
日数=6日/観覧者数=3,622人
九州・沖縄・山口各県の書家、書道ファンを対象に毎年実施している西日本で最大の書の公募展。漢字、かな、篆刻約1,100点を展示。

▶第10回 九州蒼遼会書展
6月3日(火)ー6月8日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,162人
書作品39点を展示。

▶七隈カルチャーセンター木金絵画教室展
6月3日(火)ー6月8日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,055人
水彩画、油彩画、はがき絵等98点を展示。

▶第104回 太平洋展・第43回 西日本公募展
6月10日(火)ー6月15日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800円、高・大生600円、小・中生無料
日数=6日/観覧者数=4,225人
絵画、版画、彫刻、染織あわせて300点を展示。

▶ツレ展
6月10日(火)ー6月15日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,055人
版画、陶芸作品51点を展示。

▶第23回 どんぐりの会水彩画展
6月10日(火)ー6月15日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,088人
水彩画52点を展示。

▶九州日中水墨画研究会10周年記念書画展
6月10日(火)ー6月15日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,171人
山水画、花鳥画、人物画等68点を展示。

▶江墨会 第22回水墨画展
6月10日(火)ー6月15日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,263人
額装、軸装の水墨画95点を展示。

▶第67回創元会福岡巡回展・第30回創元会西日本美術展
6月17日(火)ー6月22日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般600円、高・大生400円、小・中生無料
日数=6日/観覧者数=3,499人
巡回展は全国巡回の選抜作品および地元作家の作品を165点展示。西日本美術展は油彩、水彩の入選作品46点を展示。

▶博水会展
6月17日(火)ー6月22日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,013人
水彩画45点を展示。

▶グループNOW水彩画展
6月17日(火)ー6月22日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=884人
水彩画53点を展示。

▶版画工房WA展
6月17日(火)ー6月22日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=849人
油彩、版画作品71点を展示。

▶第2回 原田健治・佳代子二人展
6月17日(火)ー6月22日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,236人
油彩画、ペン画、コラージュ、オブジェ等の作品約150点を展示。

▶第22回 日洋展
6月24日(火)ー6月29日(日)
特別展示室A
観覧料=一般800円、高・大生400円、小・中生無料
日数=6日/観覧者数=2,326人
巡回作品および九州在住一般入選の油彩、水彩作品132点を展示。

▶河原大輔作品展
6月24日(火)ー6月29日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,824人
油彩、水彩作品44点を展示。

▶九州大学写真部 六月展
6月24日(火)ー6月29日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=689人
写真作品38点を展示。

▶第2回 作勝会水墨画展
6月24日(火)ー6月29日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=759人
水墨画約60点を展示。

▶九州大学美術部展　水無月展
6月24日(火)ー6月29日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=611人
油絵、水彩、切絵作品22点を展示。

▶第41回 てん・ぐるうぷ展
6月24日(火)ー6月29日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,095人
油彩画、水彩画等58点を展示。

▶ゴヤ銅版画展「戦争の惨禍」
7月1日(火)ー7月6日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,186人
銅版画80点を展示。

▶第30回 火曜日の仲間展
7月1日(火)ー7月6日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=679人
油絵33点を展示。

▶九州産業大学 大島洋ゼミナール写真展「思考する眼」
7月1日(火)ー7月6日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=658人
写真作品約150点を展示。

▶円舞曲(一字一絵)
7月1日(火)ー7月6日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=560人
油絵40点を展示。

▶第9回 二科会写真部福岡支部写真公募展
7月8日(火)ー7月13日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,021人
入賞・入選作品と支部員の写真作品あわせて172点を展示。

▶SEIEN写真倶楽部作品展
7月8日(火)ー7月13日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,234人
写真作品53点を展示。

▶山田秀一展
7月8日(火)ー7月13日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=452人
鉛筆画約30点を展示。

▶西日本写真協会福博支部 第9回「木曜会」作品展
7月8日(火)ー7月13日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,105人
風景・動物・花の写真作品33点を展示。

▶第3回 宙(そら)の会展
7月8日(火)ー7月13日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=704人
油絵、水彩、デッサンあわせて35点を展示。

▶鈴木鶴城古稀記念「仏に出遇う」
7月15日(火)ー7月21日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝1,446人
書作品47点を展示。

▶木仏と土造形展
7月15日(火)ー7月21日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝1,016人
木彫仏70点、土人形50点を展示。

▶第18回 鎮西フォトクラブ福岡写真展
7月15日(火)ー7月21日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数＝7日／観覧者数＝1,430人
郷土福岡・近郊の風物を撮った写真作品56点を展示。

▶89歳 住田昌章展
7月15日(火)ー7月21日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数＝7日／観覧者数＝788人
油絵、水彩色紙、短冊、書、掛軸の作品56点を展示。

▶微妙な違和感 三人展
7月15日(火)ー7月21日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝775人
水彩、アクリル、油彩作品48点を展示。

▶陶房 福聚窯陶彩展
7月23日(水)ー7月27日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝2,260人
陶芸作品200点を展示。

▶西日本写真協会博多支部 第6回写真展
7月23日(水)ー7月27日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝620人
写真作品38点を展示。

▶第30回 朝日学生書道展
7月23日(水)ー7月27日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝5日／観覧者数＝887人
九州、山口、沖縄各県在住の小・中・高生を対象とした公募展。上位作品552点を展示。

▶心自会書作展
7月23日(水)ー7月27日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝940人
額装、軸装、小作品、実用書、創作作品など約70点を展示。

▶第22回 工芸美術 知新会展
7月29日(火)ー8月3日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,332人
陶磁器、染織、人形、皮革、キルト作品あわせて61点を展示。

▶ナラ８展
7月29日(火)ー8月3日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝936人
絵画、木彫、土粘土作品約30点を展示。

▶(財)独立書人団　第31回福岡県支部書展
7月29日(火)ー8月3日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝781人
濃墨、淡墨作品27点を展示。

▶第25回 観生会展
7月29日(火)ー8月3日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝674人
屏風、額装、軸装の書作品31点を展示。

▶九州造形短期大学創立40周年記念作品展
8月5日(火)ー8月10日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝2,924人
創立40周年事業の一環として、同窓会、在学生、教職員、教職員ＯＢ・ＯＧによる合同作品展を開催。絵画、彫刻、イラスト、写真、陶芸、染色、金工の作品548点を展示。

▶山崎倖子作品展
8月12日(火)ー8月17日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,906人
日本画、水墨画、舞台用作品あわせて49点を展示。

▶九州FOTOグループ展合同写真展「Multiplication II」
8月12日(火)ー8月17日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝654人
九州造形短期大学公開講座で制作した写真作品62点を展示。

▶第8回 九大美術会展
8月12日(火)ー8月17日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝643人
油彩、水彩、アクリル作品53点を展示。

▶第14回 健筆会書作展
8月12日(火)ー8月17日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝619人
漢字書44点を展示。

▶鄭琪満作陶展
8月12日(火)ー8月17日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝581人
陶芸作品80点を展示。

▶松永鶴雲遺墨展
8月19日(火)ー8月24日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,013人
書作品65点を展示。

▶佐賀県立有田窯業大学校 夏季選抜作品展「窯大 見て知っ展」
8月19日(火)ー8月24日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝806人
量産プロダクト製品の陶磁器、造形的試作品など104種、約200点を展示。

▶第6回 シェイク展
8月19日(火)ー8月24日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝597人
油彩、水彩、アクリル、木彫、写真、CG、陶器等の作品あわせて48点を展示。

▶九州一先会会員展
8月19日(火)ー8月24日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝961人
屏風、軸装、茶掛、額装等の書作品83点を展示。

▶グループテオ展
8月19日(火)ー8月24日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝822人
油彩、版画、水彩、パステル、彫刻、立体造形、皮革造形、絵本、写真、ミクスドメディアの作品あわせて107点を展示。

▶福岡県高等学校 第3回書道教員書作展
8月26日(火)ー8月31日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝5,326人
漢字、仮名、漢字交じりの書、篆刻、刻字など61点を展示。

▶色の世界
8月26日(火)ー8月31日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝794人
写真作品192点を展示。

▶紫彩展
8月26日(火)ー8月31日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝781人
彫刻、絵画、陶芸55点を展示。

▶第22回 蒼松会福岡展
8月26日(火)ー8月31日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,029人
額、掛軸、巻子、折帖などのかな書作品約70点を展示。

▶皆(かい)展
8月26日(火)ー8月31日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,674人
公民館や子ども絵画サークル等の合同作品展。はがき絵、水彩画等の作品約200点を展示。

▶田中道太郎油絵展(山々の詩)
9月2日(火)ー9月7日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝493人
ヒマラヤ山脈と九州の山々の油彩画40点を展示。

▶第20回 サムホール公募展
9月2日(火)ー9月7日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,579人
サムホールサイズの絵画427点を展示。

▶朝陽書道会九州支部展
9月2日(火)ー9月7日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝992人
額装、巻子等の作品60点を展示。

▶水の郷フォトクラブ作品展
9月2日(火)ー9月7日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝892人
写真作品64点を展示。

▶アクラス画・馬場忍展
9月9日(火)ー9月15日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝1,158人
透明アクリル板にアクリル絵具や油絵具で描いたガラス絵の作品91点を展示。

▶第7回 玄洋・周船寺公民館水彩画展
9月9日(火)ー9月15日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝845人
水彩画、デッサン62点を展示。

▶第38回 世界児童画展
9月9日(火)ー9月15日(月・祝)
市民ギャラリーB・C
日数＝7日／観覧者数＝2,293人
世界の子どもたちの絵画508点を展示。

▶大歳紫水喜寿記念展
9月9日(火)ー9月15日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝710人
日本画(花鳥画、美人画)約70点を展示。

▶国際写真サロン入選作品及び全日本写真連盟会員作品合同写真展
9月17日(水)ー9月21日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝546人
写真作品254点を展示。

▶Murayama Miho exhibiton Ceramic art展
9月17日(水)ー9月21日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝437人
花器等の陶器によるオブジェ作品を展示。

▶手描き染め生徒作品展
9月17日(水)ー9月21日(日)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝589人
タペストリー、のれん、日傘など300点を展示。

▶愉しいやすらぎ展
9月17日(水)ー9月21日(日)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝687人
木と和紙に書、絵を描く作品300点を展示。

▶ボタニカルアート(植物画)＆創作絵本展
9月17日(水)ー9月21日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝709人
水彩画、創作絵本原画、ペインティング作品あわせて105点を展示。

▶庄島なをと写真展『樹魂』(生命)
9月23日(火)ー9月28日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,108人
モノクローム写真約120点を展示。

▶陶庵・池順鐸遺作展・韓国現代陶芸家作品展
9月23日(火)ー9月28日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝943人
韓国陶磁、抹茶茶碗、水差、花器など33点を展示。

▶NHK文化センター福岡教室20周年記念作品展
9月23日(火)ー9月28日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝2,135人
絵画、書道、写真など約400点を展示。

▶彩の会水彩画展
9月23日(火)ー9月28日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,386人
水彩画59点を展示。

▶鶴陽美術展
9月30日(火)ー10月5日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,342人
洋画、日本画、工芸、彫刻、写真、書などあわせて96点を展示。

▶益田凡夫展ーフォトモンタージュー
9月30日(火)ー10月5日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝499人
写真作品をパソコンによってモンタージュ表現した作品38点を展示。

▶第31回 西日本版画協会展
9月30日(火)ー10月5日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,037人
木版、ペーパースクリーン、シルクスクリーン、銅版画等56点を展示。

▶第9回 グループ四季展
9月30日(火)ー10月5日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,108人
水彩画56点を展示。

▶ゆう美会
9月30日(火)ー10月5日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,170人
書、絵画、写真、押花、陶芸等66点を展示。

▶第20回 彩舟会(20周年記念展)
10月7日(火)ー10月13日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝1,724人
油彩作品100点を展示。

▶木ノ下淳一と一の会作品展
10月7日(火)ー10月13日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝1,043人
デッサン、油彩画、日本画、水彩画など50点を展示。

▶第19回 福岡フォトフレンドさくら
10月7日(火)ー10月13日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数＝7日／観覧者数＝889人
写真作品70点を展示。

▶第36回 古光書作展
10月7日(火)ー10月13日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数＝7日／観覧者数＝792人
漢字、仮名、現代文体書約36点を展示。

▶土陽の会展
10月7日(火)ー10月13日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝1,082人
油彩画54点を展示。

▶戸田切り絵と韓国伝統「韓紙工芸」の交流展
10月15日(水)ー10月19日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝1,191人
切り絵90点、韓紙工芸品50点を展示。

▶福岡文化連盟「天神」祭り[美術展てんじん]
10月15日(水)ー10月19日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝5日／観覧者数＝896人
洋画、写真、日本画、彫刻、書、工芸、アートフラワー、グラフィックデザイン、押し花、創作人形など140点を展示。

▶第9回 生(いき)展
10月15日(水)ー10月19日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝682人
写真作品114点を展示。

▶小川徹也展・元田典利展
10月21日(火)ー10月26日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝594人
小川による彫刻6点とレリーフ状ドローイング作品3点および元田による写真のインスタレーション13シリーズほかを展示。

▶ネイチャーフォト6人展
10月21日(火)ー10月26日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝926人
山、風景写真54点を展示。

▶第24回 城南区市民アート展
10月21日(火)ー10月26日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,036人
絵画、グラフィックデザイン、書、写真、工芸あわせて135点を展示。

▶第82回 チャーチル会博多絵画展
10月21日(火)ー10月26日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,075人
油彩、水彩、パステル等の作品43点を展示。

▶第23回 水墨祥泉会展
10月28日(火)ー11月3日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝2,135人
水墨画と墨彩画の作品102点を展示。

▶第30回 福岡きりえ展
10月28日(火)ー11月3日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝1,200人
切り絵作品46点を展示。

▶七曜舎展
10月28日(火)ー11月3日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数＝7日／観覧者数＝1,077人
ヌードデッサン68点を展示。

▶第9回 ラ・ピタ会、イーゼル会合同展
10月28日(火)ー11月3日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数＝7日／観覧者数＝1,163人
油彩64点を展示。

▶形象展
10月28日(火)ー11月3日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝1,144人
油彩46点を展示。

▶第13回 福岡市美術連盟展
11月5日(水)ー11月9日(日)
特別展示室A
日数＝5日／観覧者数＝2,130人
日本画、絵画、ノンセクション、彫刻、写真、工芸、グラフィクデザインあわせて146点を展示。

▶第8回 N548展
11月5日(水)ー11月9日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝878人
九州産業大学芸術学部美術学科酒井忠臣研究室卒業生の作品展。平面作品約60点を展示。

▶第14回学校飼育動物スケッチコンクール
11月5日(水)ー11月9日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝754人
受賞作品42点を展示。

▶和紙ちぎり絵展
11月5日(水)ー11月9日(日)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝742人
ちぎり絵作品92点を展示。

▶自由刺しゅうの会作品展示会
11月5日(水)ー11月9日(日)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝808人
額装作品、タペストリー、布物、バッグ、ワンピース等81点を展示。

▶田崎水彩画教室展
11月5日(水)ー11月9日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝1,019人
水彩画116点を展示。

▶第60回 毎日書道展九州展
11月11日(火)ー11月16日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般500円、大学生以下無料
日数＝6日／観覧者数＝4,219人
漢字・かな・近代詩文書・大字書・篆刻・刻字・前衛書の7部門で、1,081点を展示。

▶第41回 玄霜会日本画展
11月11日(火)ー11月16日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,237人
日本画26点を展示。

▶第29回 中央区市民文化祭 美術作品展
11月11日(火)ー11月16日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,167人
洋画・日本画・写真・書・手工芸の5部門の応募作品549点を展示。

▶第14回 書道渓風会福岡会員展
11月11日(火)ー11月16日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝724人
額装・軸装を中心に巻子、屏風等49点を展示。

▶第40回 九州かな書道協会展
11月18日(火)ー11月24日(月・祝)
特別展示室A
日数＝7日／観覧者数＝1,100人
かなを中心に額装、軸装等の作品約400点を展示。

▶上村光夫回顧展(喜寿記念)ー油彩・水彩ー
11月18日(火)ー11月24日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝2,018人
馬および風景を描いた油彩・水彩作品45点を展示。

▶第38回 福岡市高齢者美術展
11月18日(火)ー11月24日(月・祝)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝7日／観覧者数＝1,600人
全市の老人クラブ連合会の会員及び高齢者が創作した作品。洋画、日本画、写真、書、工芸の181点を展示。

▶福岡市退職小学校長会第31回作品展
11月18日(火)ー11月24日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝1,643人
絵画、書、工芸、写真など78点を展示。

▶吉田宏太展(個と普遍)
11月26日(水)ー11月30日(日)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝355人
アクリル画、油彩画ほか立体作品をあわせて50点展示。

▶ときめきアートフェスタ福岡市障がい者美術展
11月26日(水)ー11月30日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝5日／観覧者数＝1,112人
障がいのある市民の絵画、書道、陶芸、写真等の作品約300点を展示。

▶第8回 ロータリー・ジュニア美術展
11月26日(水)ー11月30日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝801人
福岡市および近郊の中学生の平面画(油彩を除く)を150点展示。

▶第63回 行動展 全西部行動展
12月2日(火)ー12月7日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝2,572人
全国巡回展。油絵、彫刻あわせて162点を展示。

▶虹の会＆ドリーム作品展
12月2日(火)ー12月7日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝831人
油彩画、水彩画あわせて60を展示。

▶行動美術 彩友会作品展
12月2日(火)ー12月7日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,298人
油彩画121点を展示。

▶第5回 姚明水墨画書道研究会展
12月2日(火)ー12月7日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝971人
水墨画83点を展示。

▶第34回 西日本書美術展
12月9日(火)ー12月14日(日)
特別展示室A・B
日数＝6日／観覧者数＝3,360人
西日本書美術協会の代表作家、委嘱作家、推薦作家、選抜作家ならびに一般公募で入賞した書道作品951点を展示。

▶第15回 サザンクロス写真展
12月9日(火)ー12月14日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝807人
「美」をテーマにした写真作品約60点を展示。

▶高山オリ子の世界展
12月9日(火)ー12月14日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,066人
油彩作品68点を展示。

▶第2回 福岡水彩の会展
12月9日(火)ー12月14日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,936人
水彩画22点を展示。

▶西日本新聞書道之友展2008
12月16日(火)ー12月21日(日)
特別展示室A
日数＝6日／観覧者数＝2,774人
小学生から一般を対象にした公募展。半紙、漢字、かな、詩文書約1000点を展示。

▶滝口文吾作品展
12月16日(火)ー12月21日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,129人
油彩画25点を展示。

▶第28回 南区美術展
12月16日(火)ー12月21日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数＝6日／観覧者数＝1,039人
市民公募および南区美術協会員の作品展。絵画、書、工芸、写真、彫刻あわせて182点を展示。

▶UNE(ユヌ)展
12月16日(火)ー12月21日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝781人
油彩作品47点を展示。

▶第15回新作能面展
12月23日(火)ー12月27日(土)
特別展示室B
日数＝5日／観覧者数＝663人
能面100面を展示。

▶第11回 福岡風雲会書作展
12月23日(火)ー12月27日(土)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝504人
軸装、額装、巻物、本の書作品31点を展示。

▶第17回 翠峰会展
12月23日(火)ー12月27日(土)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝292人
書50点、水墨画他20点を展示。

▶写友会"弥生"写真展
12月23日(火)ー12月27日(土)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝731人
写真作品51点を展示。

▶第39回 福岡市医師会文化祭美術展
12月23日(火)ー12月27日(土)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝679人
絵画、写真、書、工芸作品あわせて35点を展示。

平成21年

▶第57回 福岡県小学校児童画展
1月6日(火)ー1月12日(月・祝)
特別展示室A
日数＝7日／観覧者数＝12,539人
県内の特選作品834点、福岡地区の入選作品6,960点、計7,794点を展示。

▶九輝展
1月6日(火)ー1月12日(月・祝)
特別展示室B
日数＝7日／観覧者数＝7,071人
日本画、油彩、写真、パステル、染色、押花、能面あわせて44点を展示。

▶第6回「昭和フォトサークル」写真展
1月6日(火)ー1月12日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数＝7日／観覧者数＝956人
写真作品45点を展示。

▶二十二展
1月6日(火)ー1月12日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数＝7日／観覧者数＝536人
九州産業大学芸術学部デザイン学科の学生による展示。映像、イラスト、グラフィック作品あわせて33点を展示。

▶ももちパレス書道教室作品展
1月6日(火)ー1月12日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数＝7日／観覧者数＝1,099人
額、掛軸、屏風、帖、巻子の書作品90点を展示。

▶財津史郎個展
1月6日(火)ー1月12日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数＝7日／観覧者数＝730人
水彩、アクリル画21点を展示。

▶第62回 二紀展
1月14日(水)ー1月18日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料
日数＝5日／観覧者数＝3,027人
二紀東京展より巡回。絵画、彫刻あわせて146点を展示。

▶鑒の会　大場正男追悼展
1月14日(水)ー1月18日(日)
市民ギャラリーA
日数＝5日／観覧者数＝858人
ペーパースクリーン版画58点を展示。

▶(社)日本広告写真家協会九州支部展「水の中の九州」
1月14日(水)ー1月18日(日)
市民ギャラリーB
日数＝5日／観覧者数＝732人
写真作品100点を展示。

▶第2回 長生園ひな人形作品展
1月14日(水)ー1月18日(日)
市民ギャラリーC
日数＝5日／観覧者数＝905人
長生園創作博多人形教室の作品展。創作博多人形102点を展示。

▶第9回福岡養護学校アート展
1月14日(水)ー1月18日(日)
市民ギャラリーD
日数＝5日／観覧者数＝918人
1年間に制作した絵画、工芸、工作、書等の作品300点を展示。

▶第76回 独立展
1月20日(火)ー1月25日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝1,349人
会員および受賞者と地元西日本の入選作品、油彩画、アクリル画あわせて141点を展示。

▶写団・岡田セミナー作品展
1月20日(火)ー1月25日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝1,287人
会員の写真作品44点を展示。

▶第57回 福岡市中学校書作品展
1月20日(火)ー1月25日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,415人
中学生による半紙、半折、短冊、篆刻などの書作品883点を展示。

▶福岡市中学校特別支援学級合同作品展「ファインアート展」
1月20日(火)ー1月25日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,433人
市内43校の特別支援学級の生徒300余名の1年間の作品展。刺しゅう、書、木工、粘土、陶芸、版画、切り絵、砂絵、貼り絵、ビーズなど1,210点を展示。

▶第93回 二科展
1月27日(火)ー2月1日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般800円、高・大生500円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝7,073人
絵画、彫刻、デザイン、写真4部門の作品約640点を展示。

▶第9回「上野彦馬賞」九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展
2月17日(火)ー2月22日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝1,704人
全国公募展。一般部門(39歳まで)、高・中生部門の入賞作品あわせて102点を展示。

▶第58回 福岡市中学校美術展
2月17日(火)ー2月22日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝4,238人
福岡市立の公立中学校、公立特別支援学校による絵画、デザイン、彫刻、工芸、陶芸、立体作品の展覧会。出品数約3,000点。

▶九州産業大学芸術学部卒業制作展・大学院芸術研究科終了制作展
2月24日(火)ー3月1日(日)
特別展示室B・市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝3,308人
芸術学部卒業生による日本画、洋画、彫刻、工芸作品88点および大学院修了生による油彩、彫刻、写真、工芸、デザイン作品152点を展示。

▶第22回 蘭亭書道展
3月3日(火)ー3月8日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝3,257人
漢字、かななど調和体で色紙や短冊に表現した書作品約2700点を展示。

▶福岡市書道協会展
3月3日(火)ー3月8日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数＝6日／観覧者数＝1,610人
漢字、かな、調和体の作品を軸装、折帖、額装にて208点展示。

▶「100×FRANCE」ーフランス写真史 その起源から現在までー
3月10日(火)ー3月22日(日)
特別展示室B
観覧料＝500円
日数＝12日／観覧者数＝1,680人
フランス国立図書館、オルセー美術館、ポンピドゥーセンター等の協力を得て全100点を展示。技術の発展、「芸術的」「ヒューマニズム的」「ジャーナリスティック」なテーマ、写真とその他の科学的分野の間の普遍的関係等、様々な角度から見るフランスの写真展。九州日仏学館主催、福岡市美術館共催。

▶パステル画展
3月10日(火)ー3月15日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝910人
パステル画39点を展示。

▶第8回 福岡市東区美術協会会員展
3月10日(火)ー3月15日(日)
市民ギャラリーB・C
日数＝6日／観覧者数＝1,070人
日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真作品あわせて61点を展示。

▶九州大学芸術工学部 片山研究室・伊原研究室合同作品展
3月10日(火)ー3月15日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝764人
ミクスドメディア作品13点を展示。

▶舩持邦博米寿記念個展
3月17日(火)ー3月22日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝930人
静物、人物、風景を描いた油彩作品約30点を展示。

▶押し花＆レカンフラワー展
3月17日(火)ー3月22日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝771人
つくし押し花倶楽部の作品展。押し花額装作品77点を展示。

▶香舟会作品展
3月17日(火)ー3月22日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,077人
油彩、水彩作品55点を展示。

▶第5回 はがき絵加呂教室作品展
3月17日(火)ー3月22日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,057人
はがき絵、水彩、パステルの作品約100点を展示。

▶花を遊ぶ　田村真知子作品展
3月24日(火)ー3月29日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,176人
水彩、アクリル、コラージュ作品66点を展示。

▶NHK文化センター楽しい水彩画教室展
3月24日(火)ー3月29日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝777人
水彩画33点を展示。

▶博美会展
3月24日(火)ー3月29日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝1,001人
油彩作品約40点を展示。

▶和白水曜会
3月24日(火)ー3月29日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝711人
和白公民館の油絵教室の作品展。油絵50点を展示。

▶第2回 水の会九州かな書展
3月24日(火)ー3月29日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝739人
扇面、額、掛軸、折帖等の書作品87点を展示。

▶第1回 福岡読売写真クラブ会員展
3月31日(火)ー4月5日(日)
特別展示室B
日数＝6日／観覧者数＝2,660人
写真作品86点を展示。

▶第1回 P.C.F.写真展
3月31日(火)ー4月5日(日)
市民ギャラリーA
日数＝6日／観覧者数＝893人
写真クラブP.C.F.(Photograph Communication Fukuoka)の会員による展覧会。写真作品53点を展示。

▶江海個展
3月31日(火)ー4月5日(日)
市民ギャラリーB
日数＝6日／観覧者数＝982人
壁画技法による中国伝統画27点を展示。

▶第12回 近代SPLENDOR美術協会九州展
3月31日(火)ー4月5日(日)
市民ギャラリーC
日数＝6日／観覧者数＝1,154人
七宝焼、銀粘土、立体、平面、装身具を約200点展示。

▶たより・・・雪の里から
3月31日(火)ー4月5日(日)
市民ギャラリーD
日数＝6日／観覧者数＝1,202人
写真作品47点を展示。

講堂

講座・講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成20年			
日展100周年記念講演会	4月5日(土)		西日本新聞社	—
福岡市中学校美術教育研究会教科総会	4月16日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	67
NPO法人博多映画道場　映画「ラビリス」上映会	6月15日(日)		NPO法人博多映画道場	40
ゴヤ銅版画展「戦争の惨禍」講演会	7月5日(土)	伊集院静(作家)	福岡スペイン友好協会	246
二科会写真部福岡支部第９回写真公募展公開審査	7月6日(日)		二科会写真部福岡支部	200
第30回朝日学生書道展表彰式	7月23日(水)		朝日新聞社	200
平成20年度小学校教育課程実施状況連絡協議会	7月24日(木)		福岡市教育委員会学校指導課	292
第24回城南区市民アート展表彰式	10月26日(日)		福岡市城南区役所・ふれあい城南運営委員会	—
第13回福岡市美術連盟展講演会「極限の表現ー人間肯定の芸術を求めてー」	11月8日(土)	南嶌 宏(美術評論家)	福岡市美術連盟	100
第14回学校飼育動物スケッチコンクール表彰式	11月9日(日)		福岡市獣医師会	250
第38回福岡市高齢者美術展表彰式	11月21日(金)		社団法人福岡市老人クラブ連合会	90
ときめきアートフェスタ福岡市障がい者・児美術展表彰式	11月30日(日)		福岡市障がい者・児作品展実行委員会	170
福岡市小学校図画工作教育研究会定例会・講演会	12月6日(土)	長谷川 法世(漫画家)	福岡市小学校図画工作教育研究会	100
第3回NHK福岡俳句ウォーク大会	12月7日(日)		NHK福岡放送局事業部	181
福岡コピーライターズクラブ「FCC賞2008」審査会	12月12日(金)		福岡コピーライターズクラブ	65
	12月13日(土)			150
西日本新聞書道之友展2008表彰式	12月21日(日)		西日本新聞社・西日本新聞書道会	100
第8回南区美術展表彰式	12月21日(日)		南区役所地域振興課	70
	平成21年			
福岡県児童画展表彰式	1月10日(土)		福岡市図画工作教育研究委員会	720
福岡市小学校図画工作教育研究会２月定例会	2月14日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	37
太平洋美術会西日本支部研修会	2月28日(土)		太平洋美術会西日本支部	50
	3月1日(日)			80
福岡市書道協会展	3月8日(日)		福岡市書道協会	109
公開講座　金沢・横浜から学ぶ。 講演1「金沢の文化政策とコミュニティの発展」 講演2「都市戦略の手法ーデザイン、アート、クリエイティビティ」	3月20日(金)	河原清(金沢市文化交流部長) 仲原正治(横浜市創造都市事業本部)	NPO法人FUKUOKAデザインリーグ・福岡市	60

(講師敬称略)

教養講座室

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成20年		
フジクロームクラブJP福岡作品講評会	4月11日(金)	フジクロームクラブJP福岡	30
第39回日展　ワークショップ(書)	4月12日(土)	(社)日展・西日本新聞社・TNCテレビ西日本・福岡県・福岡市	15
創元会福岡支部研究会	4月13日(日)	創元会福岡支部	35
フジクロームクラブJP福岡作品講評会	4月18日(金)	フジクロームクラブJP福岡	20
つくば開成高校美術鑑賞学習	4月23日(水)	つくば開成高等学校福岡開成館	63
美術修復について	4月26日(土)	一華会	10
太平洋美術会西日本展準備総会	4月27日(日)	太平洋美術会西日本支部	66
福岡市中学校美術教育研究会美術部顧問者会	5月2日(金)	福岡市中学校美術教育研究会	24
第26回上野の森美術館大賞展講演会	5月3日(土)	西日本新聞社	—
平成20年度福岡美術連盟総会	5月11日(日)	福岡市美術連盟	—
第24回西部朝日書道展審査	5月15日(木)	朝日新聞社・西部朝日書道会	16

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
日本の美術修復	5月24日(土)	一華会	10
創元会福岡支部研究会	5月25日(日)	創元会福岡支部	42
武蔵野美術大学校友会福岡支部総会	6月1日(日)	武蔵野美術大学校友会福岡支部	15
九州蒼遼会書展研究会	6月3日(火)	九州蒼遼会	—
第43回太平洋展(西日本)授賞式	6月10日(火)	(社)太平洋美術会西日本支部	56
福岡市中学校美術教育研究会第1回常任委員会	6月11日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	20
2008 International Crossroads in Fukuoka Workshop	6月12日(木)	Japan Studies Association	26
フジクロームクラブJP福岡作品講評会	6月13日(金)	フジクロームクラブJP福岡	30
福岡市小学校図画工作教育研究会6月総会	6月14日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	58
二科展デザイン部福岡同人の勉強会	6月15日(日)	二科会デザイン部福岡同人	16
日洋会福岡絵画研究会	6月24日(火)	日洋会福岡	50
	6月25日(水)		50
日本の美術修復	6月28日(土)	一華会	10
福岡市小学校図画工作教育研究会7月例会	7月5日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	30
フォトワールド写真講評会	7月9日(水)	(株)フォトワールド	—
「光の森」ワークショップ	7月12日(土)	光の森	6
日本の色めぐり会浮世絵鑑賞会	7月31日(木)	日本の色めぐり会	12
第22回工芸美術 知新会展 表彰式	8月3日(日)	知新会・読売新聞西部本社・FBS福岡放送	30
フォトワールド写真講評会〜水滴を撮ってみよう〜	8月9日(土)	(株)フォトワールド	30
福岡市観光案内ボランティア研修	8月19日(火)	福岡市経済振興局観光振興課	—
日本の美術修復	8月23日(土)	一華会	10
福岡県インテリア科教育研究会研修会	8月26日(火)	福岡県工業高等学校教育研究会インテリア科部会	12
フジクロームクラブJP福岡作品講評会	8月29日(金)	フジクロームクラブJP福岡	27
福岡市中学校美術教育研究会第2回常任委員会	9月3日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	11
福岡市中学校美術教育研究会美術部顧問者会	9月10日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	16
福岡市小学校図画工作教育研究会9月定例会	9月13日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	54
美術修復について	9月27日(土)	一華会	10
舟木富治講演	10月7日(火)	彩舟会20周年記念実行委員会	70
日本の色めぐり会　松永記念館室「秋の名品展」鑑賞会	10月9日(木)	日本の色めぐり会	12
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	10月10日(金)	フジクロームクラブjp福岡	25
福岡市小学校図画工作教育研究会10月定例会	10月18日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	54
創元会福岡支部総会	10月19日(日)	創元会福岡支部	32
第24回城南区市民アート展会議	10月20日(月)	福岡市城南区役所・ふれあい城南運営委員会	—
第24回城南区市民アート展審査	10月26日(日)	福岡市城南区役所・ふれあい城南運営委員会	—
第42回各流合同茶会	11月2日(土)	福岡茶道文化連盟	—
	11月3日(日)		670
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	11月5日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	14
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	11月7日(金)	フジクロームクラブjp福岡	23
第29回中央区市民文化祭美術作品展 表彰式	11月16日(日)	中央区市民の祭り運営委員会・中央区役所地域振興課	60
美術修復について	11月19日(木)	一華会	10
映画に関する12ヶ月のワークショップ	11月29日(土)	映画に関する12ヶ月のワークショップ事務局	10
第8回ロータリージュニア美術展 表彰式	11月30日(日)	福岡中央ロータリークラブ	70
創元会福岡支部研究会	11月30日(日)	創元会福岡支部	31
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	12月5日(金)	フジクロームクラブjp福岡	15
第3回NHK福岡俳句ウォーク大会	12月6日(土)	NHK福岡放送局事業部	—
	12月7日(日)		181
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	12月10日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	10
福岡コピーライターズクラブ「FCC賞2008」審査会	12月12日(金)	福岡コピーライターズクラブ	65
	12月13日(土)		150

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
太平洋美術会西日本支部絵画部総会	12月14日(日)	太平洋美術会西日本支部絵画部	35
西日本新聞書道之友展2008 会議	12月21日(日)	西日本新聞社	15
フジクロームクラブjp福岡作品講評会	12月26日(金)	フジクロームクラブjp福岡	18
	平成21年		
福岡県児童画展表彰式	1月10日(土)	福岡市図画工作教育研究委員会	720
創元会福岡支部研究会	1月12日(月)	創元会福岡支部	27
福岡養護学校アート展	1月15日(木)	福岡県立福岡養護学校	58
	1月16日(金)		70
美術修復について	1月21日(水)	一華会	10
福岡市小学校図画工作教育研究会1月定例会	1月24日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	44
太平洋美術会西日本支部定時総会	1月25日(日)	太平洋美術会西日本支部	65

実技講座室

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成20年		
第39回日展ワークショップ(彫刻)	4月5日(土)	(社)日展・西日本新聞社・TNCテレビ西日本・福岡県・福岡市	15
第39回日展ワークショップ(洋画)	4月6日(日)		15
モモチ油絵同好会	4月9日(日)	モモチ油絵同好会	7
デッサン研修	4月9日(日)	グループ形象	6
上野の森美術館友の会実技講座	4月11日(金)	(財)日本美術協会・上野の森美術館	7
	4月12日(土)		7
デッサングループ	4月13日(日)	瀬戸葉子	8
第39回日展ワークショップ(工芸)	4月19日(土)	(社)日展・西日本新聞社・TNCテレビ西日本・福岡県・福岡市	15
デッサン研究会	4月20日(火)	ラ・リベルテ113	7
講演とワークショップ	4月22日(火)	シボリコミュニティ福岡	60
モモチ油絵同好会	4月23日(水)	モモチ油絵同好会	7
デッサン研修	4月23日(水)	グループ形象	6
石膏デッサン	4月25日(金)	はがき絵教室	10
美術修復について	4月26日(土)	一華会	—
ムービングクロッキー	5月11日(日)	福岡二紀会	26
モモチ油絵同好会	5月13日(火)	モモチ油絵同好会	5
デッサン研修	5月14日(水)	グループ形象	6
人物デッサン会	5月18日(日)	人物デッサン会グループ	9
モモチ油絵同好会	5月21日(水)	モモチ油絵同好会	5
デッサン研究	5月25日(日)	ラ・リベルテ113	7
デッサン研修	5月28日(水)	グループ形象	6
デッサン研修	6月4日(水)	グループ形象	6
石膏デッサン	6月6日(金)	木村良子デッサン教室	10
人物デッサン会	6月8日(日)	人物デッサン会グループ	9
モモチ油絵同好会	6月11日(水)	モモチ油絵同好会	7
デッサン研究	6月15日(日)	ラ・リベルテ113	8
モモチ油絵同好会	6月18日(水)	モモチ油絵同好会	7
モリ・クロッキー会	6月24日(火)	森 信也	25
デッサン研修	6月25日(水)	グループ形象	6
デッサン研修	7月2日(水)	グループ形象	6
人物デッサン会	7月13日(日)	人物デッサン会グループ	10
モモチ油絵同好会	7月16日(水)	モモチ油絵同好会	5

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
デッサン会	7月20日(日)	ラ・リベルテ113	7
デッサン研修	7月23日(水)	グループ形象	6
モリ・クロッキー会	7月24日(木)	森 信也	18
モモチ油絵同好会	7月30日(水)	モモチ油絵同好会	6
モモチ油絵同好会	8月6日(水)	モモチ油絵同好会	7
デッサン教室	8月7日(木)	木村良子デッサン教室	7
わたしとみんなのひまわり畑ワークショップ	8月7日(木)	大濠と福岡の子供たちを繋ぐ向日葵プロジェクト	30
創元会作品研究会	8月10日(日)	創元会福岡支部	40
モモチ油絵同好会	8月20日(水)	モモチ油絵同好会	7
デッサン会	8月24日(日)	ラ・リベルテ113	10
モリ・クロッキー会	8月26日(火)	森 信也	20
	8月27日(水)		22
日洋会研究会	8月31日(日)	日洋会福岡	15
モモチ油絵同好会	9月3日(水)	モモチ油絵同好会	8
勉強会(ヌードデッサン)	9月7日(日)	太平洋美術会絵画部	27
デッサン研修	9月10日(水)	グループ形象	6
勉強会(ヌードデッサン)	9月14日(日)	太平洋美術会絵画部	14
モモチ油絵同好会	9月17日(水)	モモチ油絵同好会	7
勉強会(ヌードデッサン)	9月21日(日)	太平洋美術会絵画部	21
デッサン研修	9月24日(水)	グループ形象	6
人物デッサン会	9月28日(日)	人物デッサン会グループ	10
デッサン研修	10月1日(水)	グループ形象	6
人物デッサン会	10月5日(日)	人物デッサン会グループ	10
モモチ油絵同好会	10月15日(水)	モモチ油絵同好会	8
福岡市小学校図画工作教育研究会	10月18日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	54
第24回城南区市民アート展会議	10月19日(日)	福岡市城南区役所・ふれあい城南運営委員会	—
	10月20日(月)		—
デッサン研修	10月22日(水)	グループ形象	6
ヌードクロッキー会	10月23日(木)	森 信也	22
デッサン会	10月26日(日)	ラ・リベルテ113	10
モモチ油絵同好会	10月29日(水)	モモチ油絵同好会	7
人物デッサン会	11月2日(日)	人物デッサン会グループ	10
デッサン研修	11月5日(水)	グループ形象	6
ムービングクロッキーデッサン	11月9日(日)	福岡二紀	24
モモチ油絵同好会	11月12日(水)	モモチ油絵同好会	7
クロッキー会	11月16日(日)	福岡市美術連盟 日本画	9
モモチ油絵同好会	11月18日(火)	モモチ油絵同好会	7
ヌードクロッキー会	11月22日(土)	森 信也	23
デッサン研究	11月23日(日)	ラ・リベルテ113	8
デッサン研修	11月26日(水)	グループ形象	6
デッサン研修	12月3日(水)	グループ形象	4
第3回NHK福岡俳句ウォーク大会	12月6日(土)	NHK福岡放送局事業部	—
	12月7日(日)		181
モモチ油絵同好会	12月9日(火)	モモチ油絵同好会	7
福岡コピーライターズクラブ「FCC賞2008」審査会	12月12日(金)	福岡コピーライターズクラブ	65
	12月13日(土)		150
人物デッサン会	12月14日(日)	人物デッサン会グループ	12
モモチ油絵同好会	12月16日(火)	モモチ油絵同好会	7
デッサン会	12月21日(日)	ラ・リベルテ113	10

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成21年		
クロッキー会	1月12日(月)	福岡市美術連盟 日本画	7
デッサン研修	1月14日(水)	グループ形象	4
上野の森美術館友の会 絵画実技講座	1月16日(金)	上野の森美術館	7
	1月17日(土)		7
人物デッサン会	1月18日(日)	人物デッサン会グループ	12
モモチ油絵同好会	1月21日(水)	モモチ油絵同好会	6
デッサン会	1月25日(日)	ラ・リベルテ113	10
モモチ油絵同好会	1月27日(火)	モモチ油絵同好会	5
デッサン研修	1月28日(水)	グループ形象	—
デッサン研修	3月18日(水)	グループ形象	5
日洋会福岡研究会	3月20日(金)	日洋会福岡	9
クロッキー会	3月21日(土)	福岡市美術連盟 日本画	8
ムービングデッサン	3月22日(日)	福岡二紀	22
ヌードクロッキー会	3月24日(火)	森 信也	23
デッサン研修	3月25日(水)	グループ形象	3
人物デッサン会	3月29日(日)	人物デッサン会グループ	10

版画印刷工房

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成20年		
版画制作	4月17日(木)	久佐高子	4
	5月8日(木)		4
北九州版画教室	5月15日(木)	島村恵子	1
	6月17日(火)		1
版画制作	6月22日(日)	川邊衣江	4
北九州版画教室	7月1日(火)	島村恵子	1
版画制作	7月17日(木)	川邊衣江	4
北九州版画教室	7月30日(水)	島村恵子	1
版画制作	8月28日(木)	川邊衣江	3
	9月11日(木)		3
	10月8日(水)		4
森教室	10月28日(火)	森 信也	1
	10月29日(水)		1
	11月2日(日)		1
版画制作	11月12日(水)	川邊衣江	4
森教室	11月15日(土)	森 信也	1
	11月16日(日)		1
版画制作	12月4日(木)	川邊衣江	3
森教室	12月13日(土)	森 信也	1
森教室	12月14日(日)	森 信也	1
	平成21年		
版画制作	1月14日(水)	川邊衣江	4
	2月11日(水)		3
	3月12日(木)		3

入場者数一覧

展覧会観覧者数

■特別企画展等

展覧会名	一般			団体			招待	合計
	個人	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
ボストン美術館 浮世絵名品展	52,892	4,185	3,449	8,407	311	402	17,961	87,607
九州古陶磁の精華　田中丸コレクション展	7,267	153	54	1,560	3	0	4,616	13,653
没後40年　レオナール・フジタ展	39,695	2,465	1,372	11,857	431	180	15,065	71.065
第43回福岡市美術展	4,161	110	—	—	—	—	2,879	7,150

■常設展年間観覧者数

個人			団体			老人等	合計
一般	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
13,978	1,274	—	16,727	2,020	13,181	20,633	67,813

注）老人等とは、福岡市発行のシルバー手帳・北九州市発行の年長者施設利用証及び障害者手帳提示者。

■年度別観覧者数

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,629
15	307	57,449	4	330,467	214	351,668	218	739,584
16	306	47,998	3	437,739	207	373,377	210	859,114
17	306	80,109	4	197,258	208	296,472	212	573,839
18	306	95,579	4	245,463	193	328,743	197	669,785
19	306	70,327	4	77,238	188	283,587	192	431,152
20	306	67,813	3	139,064	204	314,565	207	521,442
累計	8,903	2,404,162	100	3,852,964	5,597	14,062,384	5,697	20,319,510

注）「第43回福岡市美術展」の開催数及び観覧者数は「貸館展」に含まれている。

読書室利用者数

月	月総数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	563	26	21	563	373,265
5	504	27	18	1,067	373,769
6	407	25	16	1,474	374,176
7	800	27	29	2,274	374,976
8	1,757	27	65	4,031	376,733
9	550	25	22	4,581	377,283
10	665	27	24	5,246	377,348
11	515	26	19	5,761	378,463
12	433	23	18	6,194	378,896
1	538	23	23	6,732	379,434
2	629	24	26	7,361	380,063
3	694	26	26	8,055	380,757
年総数	8,055	306	26		

小数点以下切捨

名簿

■美術館協議会委員

（50音順・敬称略・肩書きは平成20年度のもの）

会長	錦織亮介	北九州市立大学名誉教授
副会長	濱砂圭子	育児情報誌編集長
学校教育関係者	梅崎 薫	城南中学校教頭
	岡本幸夫	博多工業高等学校長
	古川勝敏	愛宕小学校長
社会教育関係者	大田夏美	福岡市PTA協議会副会長（平成20年6月30日まで）
	小林俊子	福岡市青少年団体連絡会議理事
	佐々木静子	福岡市社会教育委員
	藤本昌代	福岡市老人クラブ連合会理事
学識経験者	石川正知	財団法人福岡文化財団専務理事
	後小路雅弘	九州大学教授
	京谷啓徳	九州大学准教授
	後藤新治	西南学院大学教授
	古野靖弘	社団法人福岡県美術協会理事長
	松尾孝司	株式会社西日本新聞社文化部
	山田 彰	福岡市美術展運営委員
	龍 秀美	秀巧社印刷（株）外国語チームチーフディレクター

■収集審査委員

（50音順・敬称略・肩書きは平成20年度のもの）

近現代美術	乾 由明	兵庫陶芸美術館館長
	中村英樹	名古屋造形大学教授
	古川智次	福岡大学教授
古美術	大橋康二	佐賀県立九州陶磁文化館館長
	河上繁樹	関西学院大学教授（平成20年9月30日まで）
	菊竹淳一	九州産業大学教授
	西岡康宏	元東京国立博物館副館長
	吉田宏志	京都府立大学名誉教授

■職員

館長	生田征生
副館長（事業管理部長事務代理）	
事業管理部長	入江準男
管理課長	徳永寛樹
管理係長	大澤正敏
管理係	長尾知早
	西 邦彦
	藤岡雅明
主査（展覧会等運営調整専任）	稲永幸一
学芸課長	尾崎直人
学芸係長	渡邊雄二
主任学芸主事	岩永悦子
	山口洋三
学芸員	三谷理華
	山本香瑞子
	後藤 恒
	正路佐知子
	鷲頭 桂（平成20年10月1日より）
嘱託員	川原大二郎
	ギャレット三宅万里子
	中原千代子
	中務美紀

平成20年度 福岡市美術館活動の記録

編集・発行 福岡市美術館
〒810-0051　福岡市中央区大濠公園1-6
TEL: 092-714-6051

デザイン **SOL** DESIGN INC.

印　　刷 株式会社エージェント

発行年月日 2010年3月16日

© 福岡市美術館　2010年

福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM